

平成24年度 弘前市市民評価アンケート
『子ども達の笑顔あふれる弘前づくりのためのアンケート』

集計結果報告書
〔クロス集計・自由意見・属性別集計表〕

平成24年8月

弘 前 市

目 次

| | | |
|---|------------------------------------|----|
| 1 | クロス集計 | 2 |
| 2 | 自由意見 | |
| | 市民評価アンケート自由意見掲載基準 | 8 |
| | 市政全般 | |
| | 〔市政全般〕 | 9 |
| | 〔市長〕 | 11 |
| | 〔計画・アクションプラン〕 | 12 |
| | 約束1 市民主権システムを実現します | |
| | 〔市民・協働〕 | 12 |
| | 〔広聴〕 | 13 |
| | 〔広報〕 | 14 |
| | 〔アンケート〕 | 15 |
| | 約束2－(1) ひろさき農業・産業おこしに取り組みます【農業振興】 | |
| | 〔農林業〕 | 16 |
| | 約束2－(2) ひろさき農業・産業おこしに取り組みます【観光振興】 | |
| | 〔観光〕 | 18 |
| | 約束2－(3) ひろさき農業・産業おこしに取り組みます【商工業振興】 | |
| | 〔商工業〕 | 22 |
| | 〔雇用〕 | 24 |
| | 〔ジョブ・パートナーシップ関係〕 | 26 |
| | 約束3 魅力あるまちづくりを進めます | |
| | 〔安全・安心〕 | 27 |
| | 〔防災〕 | 28 |
| | 〔雪国生活〕 | 28 |
| | 〔道路整備〕 | 31 |
| | 〔河川整備〕 | 32 |
| | 〔公共交通〕 | 33 |
| | 〔生活環境〕 | 33 |
| | 〔エネルギー〕 | 34 |
| | 〔景観〕 | 35 |
| | 〔公園〕 | 36 |
| | 〔上水道・下水道〕 | 37 |

| | |
|-----------------------------------|-----|
| 〔カラス対策〕 | 38 |
| 約束4－(1) 子育てするなら弘前で、を目指します【子育て】 | |
| 〔子育て環境〕 | 39 |
| 〔放課後対策〕 | 41 |
| 〔健全育成〕 | 42 |
| 約束4－(2) 子育てするなら弘前で、を目指します【人づくり】 | |
| 〔教育・学力〕 | 43 |
| 〔大学〕 | 44 |
| 〔生涯学習〕 | 45 |
| 〔文化振興〕 | 45 |
| 〔スポーツ・レクリエーション〕 | 47 |
| 〔国内外交流〕 | 48 |
| 〔公共施設〕 | 48 |
| 約束5 命と暮らしを守ります | |
| 〔社会福祉〕 | 50 |
| 〔保健医療〕 | 51 |
| 約束6 津軽地域の中核都市として、近隣市町村との連携強化を図ります | |
| 〔広域行政〕 | 53 |
| 約束7 市職員のパワーを引き出し、市役所の仕事力を高めます | |
| 〔行政運営〕 | 53 |
| その他 | |
| 〔税金等の負担〕 | 61 |
| 〔被災地支援〕 | 62 |
| 〔議会〕 | 63 |
| 〔その他〕 | 63 |
| 3 属性別集計表 | |
| I 回収結果 | 66 |
| II 回答者構成 | 66 |
| 【I アクションプランに掲げている各約束に関する施策について】 | 68 |
| 【II 市政への総合的な評価について】 | 124 |
| 【III その他個別の施策について】 | 129 |
| <資料> | |
| 平成23年度市民評価アンケート調査表 | 145 |

【ご利用にあたって】

本書は、平成24年5月に実施した「平成24年度弘前市市民評価アンケート」のクロス集計、自由意見及び属性別集計表をまとめたものです。

平成24年度弘前市市民評価アンケートの集計結果は、平成24年8月8日に公表した「平成24年度弘前市市民評価アンケート集計結果報告書」及び今回の「平成24年度弘前市市民評価アンケート集計結果報告書〔クロス集計・自由意見・属性別集計表〕」の2回にわたり公表するものです。

このアンケートにおいて自由意見欄に記述があった人は2,135人中880人で、41.2%でした。また、複数の内容の意見等を記載した人もいたことから、項目整理総数としては1,374件でした。

本書では、このうち、掲載基準に基づき（8ページに記載）、主な意見を抽出し、「市政全般」、「アクションプラン各約束」、「その他」に分類し、趣旨を損なわない範囲で修文等の整理をして掲載しています。

また、属性別集計表の結果数値（%）は、小数第2位を四捨五入して、小数第1位まで表示しています。

1 クロス集計

1 クロス集計

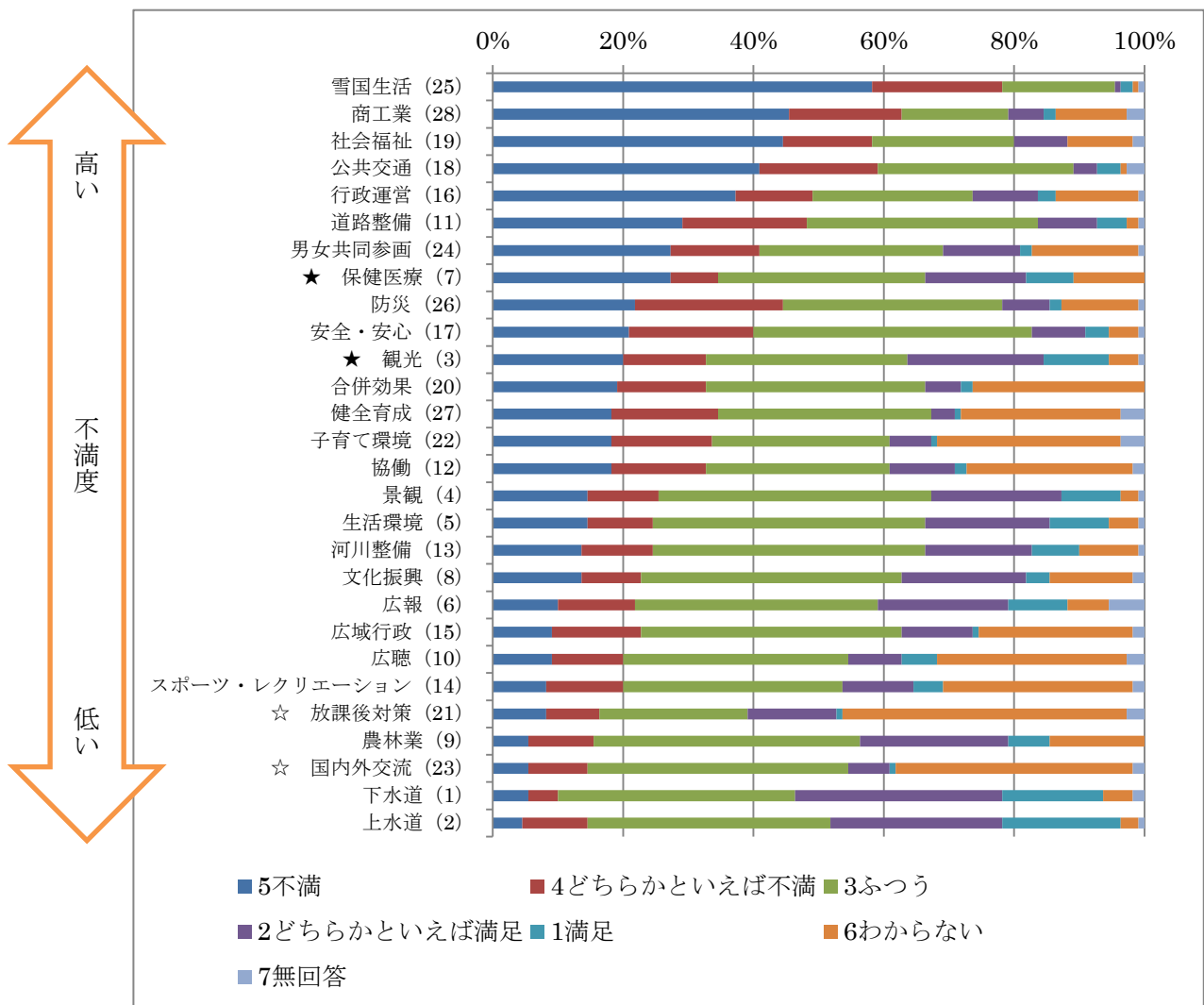
「市政への総合的な評価」を問う「問 29」の設問で、「弘前は住みにくい」と感じている人が、どの分野に対して不満を感じているか把握するためのクロス集計

①問 29「弘前市は住みよいまちだと思いますか」の問いに「住みにくいと思う」と回答した人の、問 1～問 28（アクションプランに掲げている各約束に関する施策）に対する不満度の順位

※項目右の（）内の数字は、全体の満足度の順位（全体とは、全回答者の集計結果のこと）

「雪国生活」「商工業」の不満度は高く、全体と同じ傾向となっており、全体の満足度の順位では上位の7位にある「保健医療」、3位にある「観光」も、「住みにくい」と感じている人にとっては不満度が高い。（★印）

また、「国内外交流」と「放課後対策」は不満度は低いが、「わからない」と回答した人も多く、これは全体と同じ傾向となっている。（☆印）

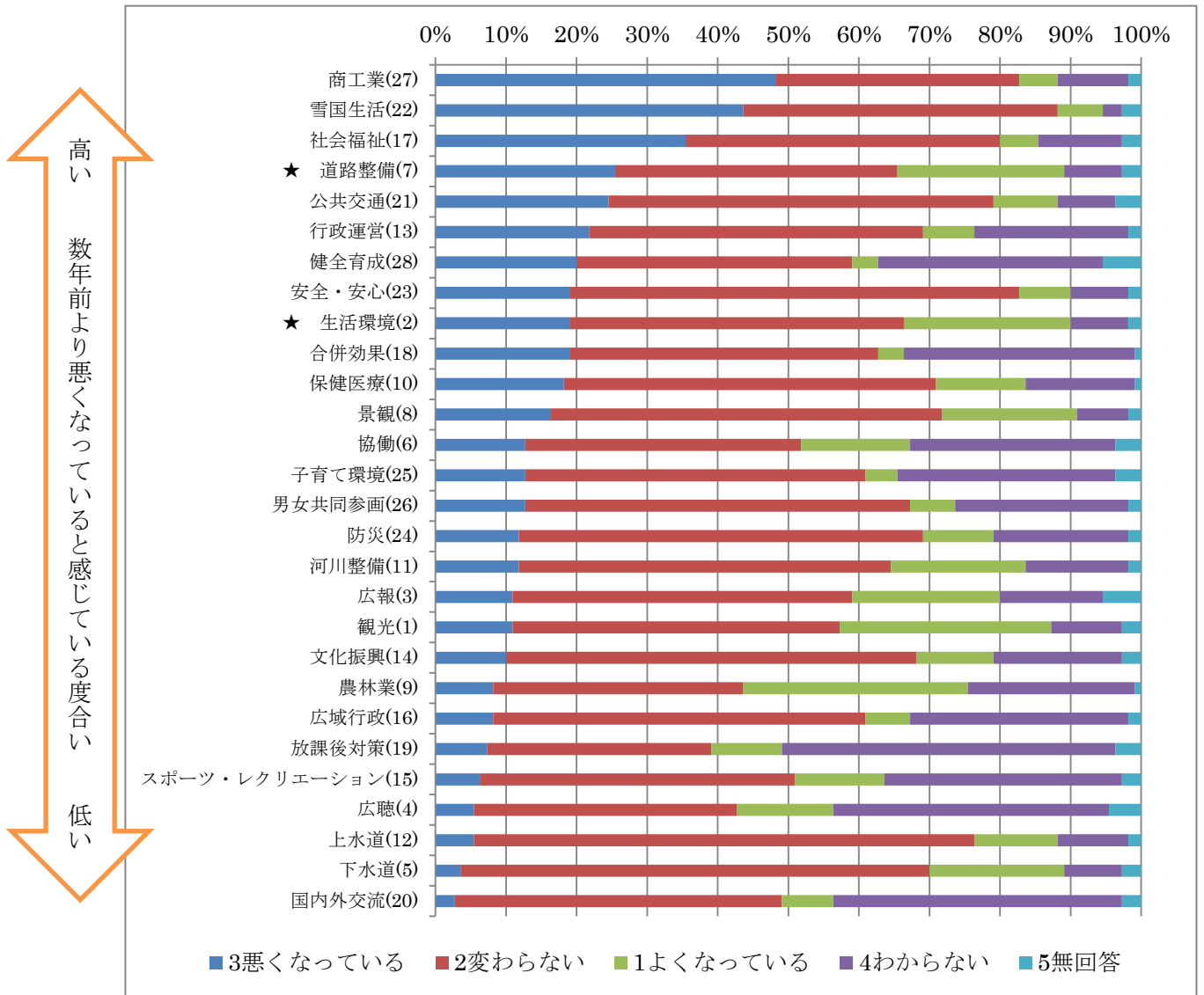


「住みにくい」と感じている人が、数年前と比較してどの分野が悪くなっていると感じているかを把握するためのクロス集計

②問 29「弘前市は住みよいまちだと思いますか」の問いに「住みにくいと思う」と回答した人の、問 1～問 28（アクションプランに掲げている各約束に関する施策）の数年前との比較での「悪くなっている」と感じている順位

※項目右の（）内の数字は、全体の数年前との比較の順位（全体とは、全回答者の集計結果のこと）

「商工業」「雪国生活」が数年前との比較で悪くなっていると感じている人が多いのは全体と同じ傾向になっており、全体の数年前との比較で、よくなっていると感じているほうの上位の7位にある「道路整備」や2位にある「生活環境」も、「住みにくいと思う」と回答した人にとっては、数年前より悪くなっていると感じている割合が高い。（★印）

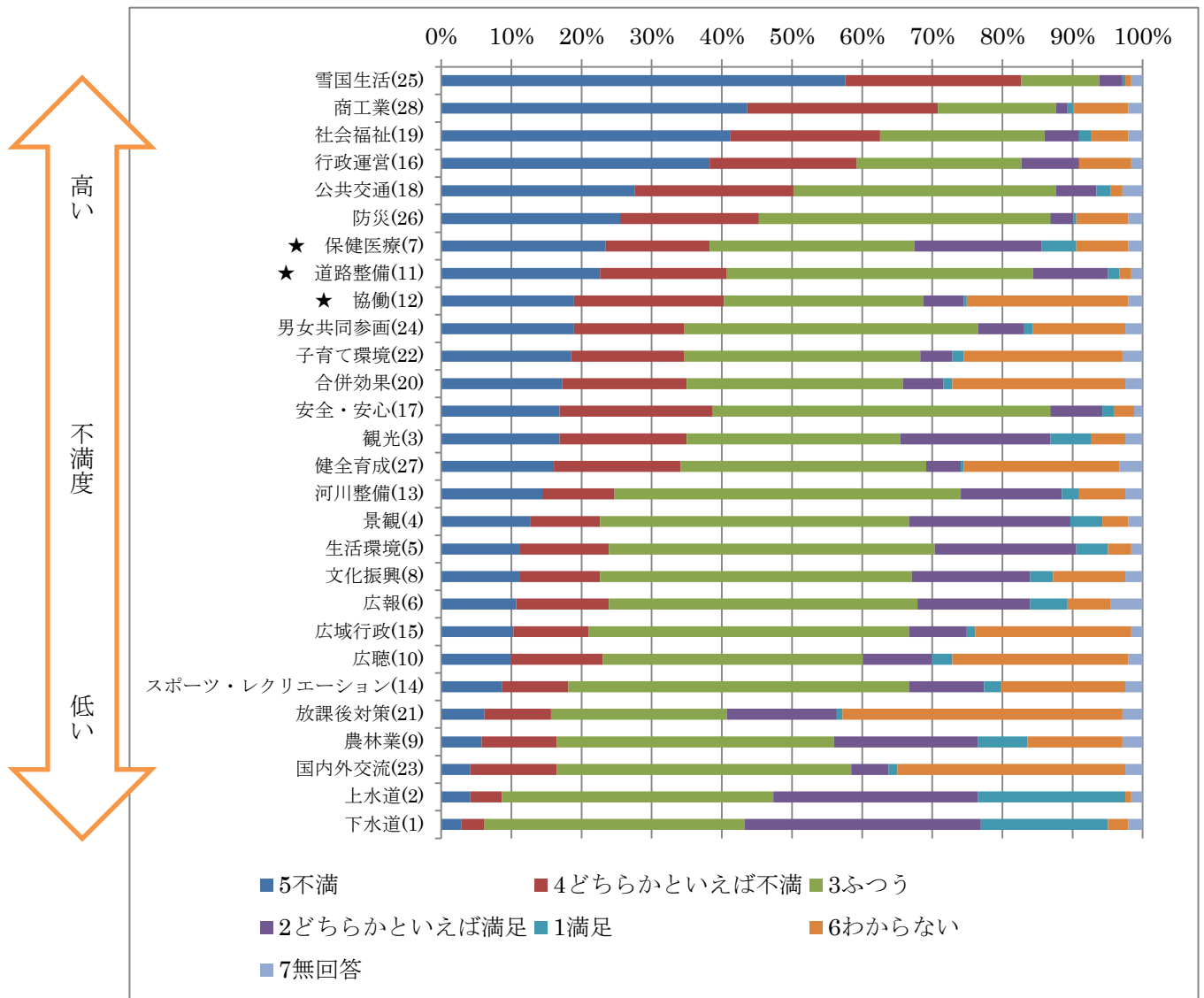


市政への総合的な評価を問う「問 31」の設問で、不満を感じている人がどの分野に対して不満を感じているかを把握するためのクロス集計

③問 31「市が進めている施策や事業、各種市民サービスなどを総合的に見た場合、どの程度満足していますか」の問いに、「不満である」「どちらかといえば不満である」と回答した人の、問 1～問 28（アクションプランに掲げている各約束に関する施策）に対する不満度の順位

※項目右の（）内の数字は、全体の満足度の順位（全体とは、全回答者の集計結果のこと）

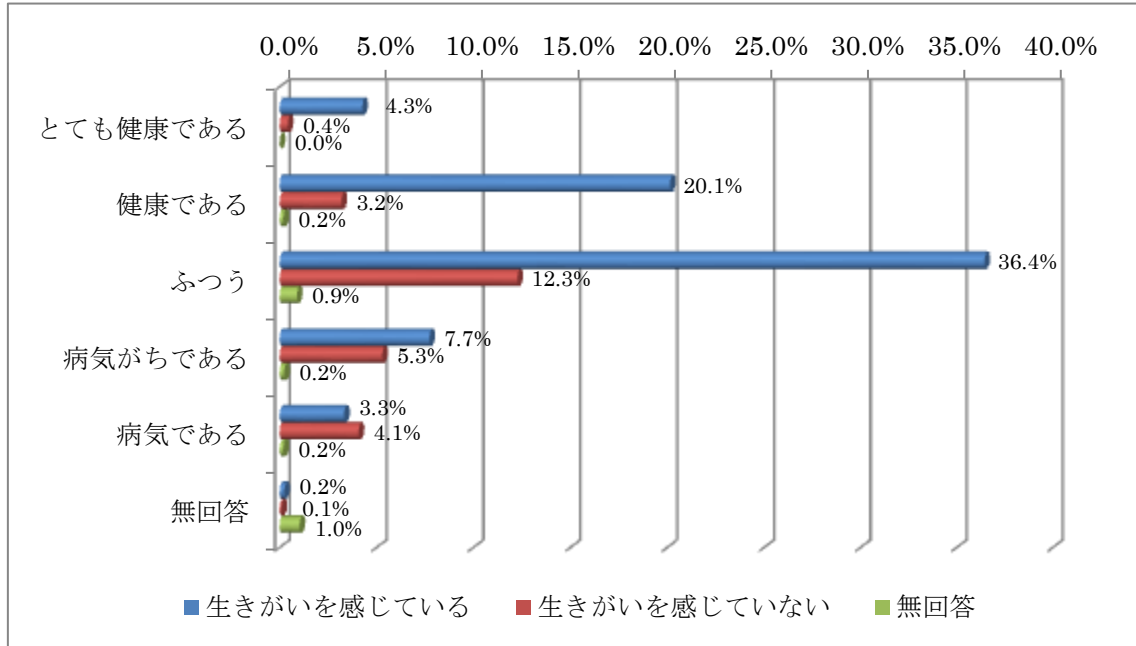
「雪国生活」「商工業」の不満度は高く、全体と同じ傾向となっており、全体の満足度の順位では上位の7位にある「保健医療」や11位にある「道路整備」、12位にある「協働」も、「市の施策・事業・市民サービス」に「不満である」人にとっては不満度が高く、それぞれ7位、8位、9位となっている。（★印）



その他個別の施策についてのクロス集計

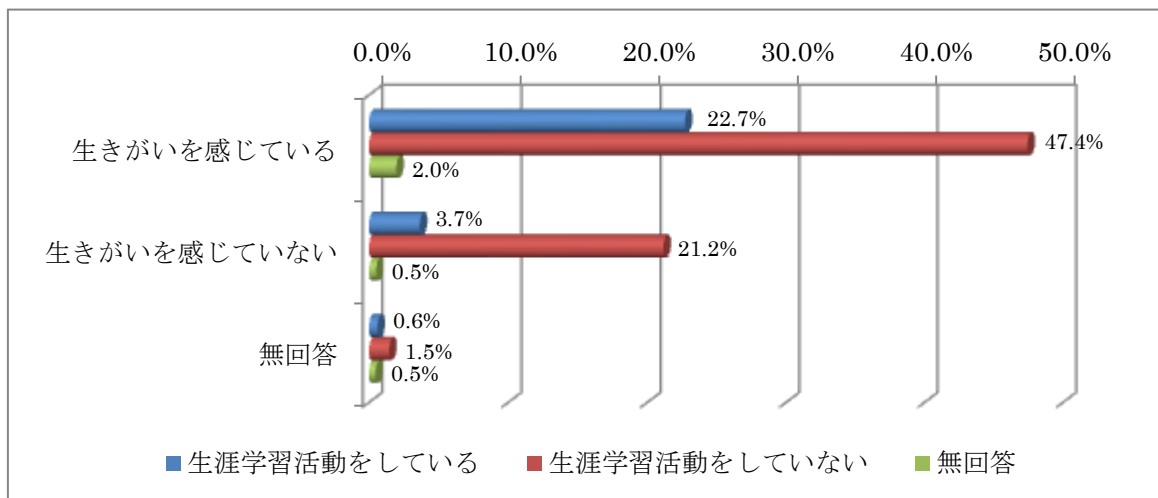
問 37 「生きがいを感じているか」と問 36 「自分の健康状態について」との関係

「とても健康である」「健康である」と答えた人は、生きがいを感じている人が多く、「病気がちである」「病気である」と答えた人は、生きがいを感じていない人が多い。特に、「病気である」と答えた人は、生きがいを感じていない人が感じている人を唯一上回っている。



問 37 「生きがいを感じているか」と問 44 「生涯学習活動をしている」との関係

「生きがいを感じている」と答えた人は、生涯学習活動をしている割合が高い。一方、「生きがいを感じていない」と答えた人は、生涯学習活動をしている割合が低い傾向にある。



2 自由意見

自由意見について

(1) 集計概要

- ・ 自由意見欄に記載があった人は2,135人中880人(41.2%)であった。
- ・ 記載の自由意見には、複数の内容を記載した人もいたことから、これを項目別に分類整理したところ、項目総数としては1,374件となった。
本報告書では、このうち主な意見を抽出し、426件(31.0%)を掲載した。

(2) 報告書の編集方針

- ① 自由意見を、その内容に応じ、
 - 1) 市政全般（市政全般、市長、計画・アクションプラン）
 - 2) アクションプラン各約束（約束1～約束7）
 - 3) その他（税金等の負担、被災地支援、議会、その他）ごとに分類し、整理した。
ただし、意見内容によって、上記分類の複数の分野に該当するものは、主要な分野に掲載した。
- ② 意見等の内容、件数が多岐にわたっているため、報告書へは、次の考え方を基本に抽出したものを「主な意見内容」（要旨）として掲載した。
 - ア 意見抽出は、今後の行政運営への活用を念頭において、建設的な内容のものを中心に行う。
 - イ 同種、類似のものは代表的なものを抽出する。
 - ウ 回答者自身の個人的なものや特定箇所の道路補修等、個別的な苦情・要望や単なる誹謗中傷の類は掲載しない。
 - エ 同種の事案で、意見が相反するものは、なるべく双方の意見等を掲載する。
- ③ 掲載文は、原文ではなく要旨とし、趣旨を損なわない範囲で修文・整文した。
また、個人が特定される文言は、修正又は削除した。

市政全般

〔市政全般〕

- 市民層を大事にし市政を動かすことはとてもいいと思うが、公募委員をあらゆるプランの中にとり入れすぎる。基本的な市政のプランのみにしていい。
- まちづくりに関しては他の地方都市では当たり前となってきたＩＣカードの導入や、パーク・アンド・ライドの整備など、明らかに立ち遅れている点がある。
- 素晴らしい風土・歴史を持つこの弘前を国内外にアピールするためにさまざまな企画を考えてほしい。ファッション甲子園は良い例で、他県に自慢できる事だと思う。某議員が「２番じゃダメなんですか？」と言っていましたが、私はやはり「１番（最初）がいい」ので、市民・企業その他からアイデアの提案があれば、余程の事が無い限り、受け入れる寛容性を持っていただきたい。新しいもの古いものが調和した「愛さずにはいられない弘前」を目指して。
- 弘前市の市として存続していくためには少子化問題は避けて通る事ができないと思う。それゆえ、就労者数の転出、減少を食い止めるための手立てが最重要な事と思われる。学都であり、農林生産地及び歴史ある地という現在あるものの強みを最大限生かしていくという地道な取り組みが一番利にかなっているのではないだろうか。
- 全国どこも同じような取り組みをしていて差別化は難しい。ならば安心、快適だと思われる地域が人を招き入れる鍵になるのではないか。そのための制度、整備を推進していただきたい。
- りんご、米、出稼ぎがままならなくなって、尻すぼみな感じがします。国の政策に振り回されず、海外に目を向けて新しい展望開拓してほしい。
- お祭りイベントが非常に多くなったと感じている。中にはこの催しが人出を期待する以外に何の意味があるかと思うのも。大晦日の弘前公園内の催しなど、必要ないし税金のむだ使い！どんどん増えている高齢者の生活に対する配慮や、若者が希望を持って生活設計が出来る雇用環境整備など税は有効に使ってほしい。

- 市政の重点は生活に困っている人を中心とするべきで、例えば「弘前城築城400年祭」行事のように、外向けのかっこいい行事に税金を使うべきではない。住宅問題で市営住宅を求めている人、職が無く仕事が無くて生活に泣いている人、病気で病院に行けない人等に手を広げていくべきだと思います。底辺で生きている人を無くしていくために税を使うべきで、国政で決まった事を上からそのまま下へ押し付けるのではなく、医療費の問題などを解決してもらいたいものです。「市民中心」「市民重点」の政治を進める事が、本当に「弘前は住みよい」「暮らしやすい」市になる事を忘れないで欲しい。
- 目新しい事よりも、地に根差した活動、政策を実践してほしい。
- 当市の最も力を入れているのが何か非常にわかりづらい。よく言えば全てにおいて平均的、特に秀でるものが無いと思われる。魅力的な町にするためには、一芸に秀でるものがぜひとも必要と思うが、市はどのように考えているのであろうか。私は、当市は学都と言われるように、教育関係（学校、大学、図書館など）に特色を見出すべきと思う。
- 県外出身ですが、弘前の魅力に引き込まれています。人が優しく温かいこと、岩木山が良く見えること、白神山地が近いこと、街が古く伝統があること。良いところがたくさんあります。他地域、他県に自慢できるところがたくさんあります。しかし、現状が心地いいためか、新しい事を行うエネルギーや、情報を地域に発信するエネルギーが少ないと思います。もっともっと弘前から発信し「弘前から日本を変える」気持ちを持ってもらいたいと思います。それほど、弘前には魅力があると思うからです。
- 観光、農業、市政、さまざまなイベントについては、一部の人に片寄っているのではないか。
- お祭り騒ぎばかりで地に足のついた政策に乏しい。
- 市民の安全・安心の施策以外については、市長を初め行政があまり張り切らないでほしい。静かな伝統ある町のままの方が、真の意味で価値ある弘前市になると思います。
- スポーツ施設の充実、商業施設の充実。さくら、りんご、ねぶたにばかりこだわらず、年中観光客が来てくれるまちづくりを。

- さまざまな事業が展開されているが、弘前市内でも市街地と郡部では、かなり差がみられるように思う。現在、子どもがいるが教育についていえば、近くに学習塾が集中しているところとないところ、ダイレクトメールが届くところと届かないところなど、情報の差も大きい。人口差もあると思うが、郡部にも目を向けていただきたい。
- 市街圏と近在の農業圏との産業と環境の違いから生じてくる良い点と問題点を、いつも真面目に一つ一つ取上げて、改善する建設的な一貫した施策を望みます。

〔市長〕

- 葛西市長になってから、弘前市の行政というものに興味を持つことがふえたと思います。市民へのアピールが上手なのかなという印象です。結果のよし悪しは別として、市民をいい意味で巻き込んでいくのは良いことだと思います。
- 市長の思いと現状とはかなり解離している。特に教育と福祉の現場において。
- 葛西市長の自殺防止ラジオアナウンス等、市役所の屋上を桜まつり期間解放したこと等、頑張っておられるようす、ますますの活躍を期待しております。
- 葛西市長、頑張りすぎ！何かを良くしようと焦りすぎ。城下町の、のんびりさが無くなってきた。
- 葛西市長になってから少し弘前が変わった気がする。しかしながら、まだまだ市民の気持ちは分かっていない。
- 市長の日頃のパフォーマンスが目につき一過性の政策にしか見えない。長い目で見た地に足がついた政策を市職員に期待したい。このまま進んでいくと財政難になり、社会保障的な予算が底をつき、数年後は赤字が市職員そのものを苦しめていくことになると察する。もっと市民（一般市民）のレベルを考えた市政を考えてほしい。超高齢社会が進む中で観光客に目を向け過ぎても、弘前の人々の生活は何も変わらず、むしろ、農家を初め一般の市民にとっては、生活が苦しくなる一方である。
- 市長のアイデア、行動力で弘前市の知名度が高まり、とてもうれしいのですが、財政がどうなのか不安でもありますが、大いに期待しています。

- 葛西市長になってからというもの弘前の外への発信も多くなり、活性化している感じがします。元気な街づくり、これからも期待しています。

〔計画・アクションプラン〕

- 市長が提言しているアクションプランが、よくわかりづらい。全てにおいて数値目標で判断しようとすることに無理がある。
- アクションプランの進行状況、評価、点検、その後が一般市民に見えてこない。
- 現在の政策並びに施策については、共感します。PDCAを念頭に進めていくことにより、確実に度合いは別にしても前進はするものと感じています。
- 市の政策やアクションプラン等について、取り組みや成果について周知徹底が不足している。（自己満足だけでは市民は納得しない。）
- 市の取り組みがあまり見えない。そういうところには、どういう風に対応や対策を考えてくれるのか。アクションプランのことも知らなかった。施策など、わかっている人だけが知っていればいいという考えなのか。
- もう少し少なくともよいのではないか。もっと1つの事に力やアイデア等を入れ、内容の深い、そして安定したものにしてほしい。数だけ多くても内容的にきちんとしていないところが多いように見受けられる。

約束1 市民主権システムを実現します

〔市民・協働〕

- 私の町内は、高齢者の独り暮らしが多数居り、特に冬期間は10軒ほどの屋根の雪、

道路の排雪に朝4時頃から向かっている。カラスによるゴミ、誰ひとり片付けに出て来る人も居ない。何のための町内会か分からない。

- 市税1%活用云々とあるが、大変不平等と思う。活用できる団体もあるが、活用したくても申請等、忙しくてできない団体もあり、申請できる団体だけが恩恵を受けている。税金はもっと大切に使用すべきである。
- 弘前市エリア担当制度にて、質問要望などをしたが回答がこなかった。(一年たっても)弘前市エリア担当制度は、市長のパフォーマンスなのかな。地域では話しになっている。時間をつくって会議に参加したが、時間のむだでした。

〔広聴〕

- 現在行われているアイデアポスト、出前講座等々、特定の人にしか伝わっていない。もっと多くの人に伝わるようにする必要があります。不公平感があります。例えば、直接アンケート等を取り(対話方式)もっと弘前市民に伝える。
- 「アイデアポスト」はまだあるのでしょうか。市への意見に対して、答を入口の掲示板に公表してほしい。(大学病院のロビーに掲示しているように)
- 以前、アイデアポストに投函しようと思った時、用紙も、封筒も備え付けの物でないといけないというのは、意見が集まらないと思います。
- 公聴会の実施は平日午後のみで仕事をしていると参加が不可能である。
- 2011年発行の市民便利帳くらし弘前(弘前市ガイド、くらし情報、医療機関ガイド)がとても便利で役立って利用しております。
- 市長と市の職員で行われるランチミーティングなどの取り組みは、さまざまなアイデアを取り入れていくことができ、とても良いと思います。今後も続けてほしいです。

〔広報〕

- 広報ひろさきが新しくなって、とても読みやすくなった。特に、学生の女の子が書いている記事は楽しみにしている。今後も、続けてほしい。
- 広報弘前のスタイルが縦より横になり、見やすくなりとても良いと思います。ただ、表紙に横文字で「hirosaki」とあるのは高齢者にとってはいかがかと思います。従来通り、『広報』と漢字で書かれてある方が一目でも分かりますし、やはり、これまでの慣れもあると思います。目の前にあるのに、「広報どこさいったば〜？」と探しています。
- 広報ひろさきが以前より見づらく読みにくい。字が小さく、びっしりつまっている。広報という最初の目的からはずれている記事がある。あっさり、さらりと、大切な事だけをしっかりと載せてほしい。老人も読むので活字を読みやすくしてほしい。私のまわりでは今の広報は不評です。
- 市の広報は月2回発行されていますが、月1回で足りると思っています。
- 広報ひろさきについて。月2回は多過ぎる。老令者が冬季の配布にどんなに難儀しているかわかりか？あの程度の内容で月2回は多過ぎる。
- 市の広報のカラー印刷、年に2度位でいいのでは？エコで。(印刷費を節約)
- 白黒の広報は見る気がしない。
- 現在アパート住まいですが、「広報ひろさき」は去年2、3回来ただけでほとんど見たことがありません。市政、行政がどうなっているのかよく分かりません。
- 最近広報の配布を委託されたが、配送される部数が配布する部数より60部以上余っています。世帯の増減はそんなに極端でないはずです。一度部数の見直しを行ったら良いのでは。
- 市政や行事に関する事は、テレビ報道などで知る程度の方がほとんどです。市民への広報の方法やあり方も工夫が必要と思います。

- ホームページがわかりづらい。
- 最近をよく、詳しくは市のホームページをごらんくださいと言われますが、全ての家庭にホームページを見るためのパソコンやインターネットが備わっていると思うのでしょうか？無い人はどうすれば良いのでしょうか？

[アンケート]

- アンケートの回答期限が短くて、内容を理解するのが大変だった。
- 質問の項目をもう少し考えてみては。返答に困ります。
- アンケートの意味がよくわからない。もっとわかりやすいアンケートにしてほしいです。
- 市や市長に都合のいいアンケートにも見えますが、もう少し、あっさりとしたアンケートにした方がよいかと思えます。
- 質問の内容が広すぎて、私のように子供がいない場合や老人と同居していない場合、回答しづらい内容があつて困る。「子ども達の笑顔あふれる～」であれば、子供がいる方へアンケートを実施してはいかがでしょう？
- このようなアンケートはむだと思う。政治や行政がもっと真剣に取り組めばいちいち市民に伺い立てる必要はない。市長として考えた事を実行し、その結果は市民が判断するものである。皆の意見を聞いたら、きりがない!!
- 「数年前と比較して」とありますが、良くなっているので自慢しているように聞こえます。良くないですね。良くなって当然のことと思います。
- 男女平等に関する質問項目の存在自体が不平等感を生んでいる。今の時代にナンセンスなのでは？
- このようにアンケートをして市民の声を聞く事が行政の基本だと思います。『お役所仕事』と呼ばれない弘前市役所にし、市民の幸せを、そして将来を担う子供たちのため

に素晴らしい街にしてください。

- このアンケートはアクションプランの評価アンケートであって、表題にある「子どもの笑顔があふれる弘前づくり」のアンケートにはなっていないと思いました。どれもみな重要なプランですが、子どもに関しての具体的な設問であって欲しかった。子ども達が笑顔で元気で幸せであれば、市民誰でも幸せに暮らせる社会になると思うので、よろしくお願いいたします。
- このアンケートで市長の給与を決定することは、まったくバカげている。
- このアンケートの「問い」の内容が、すべて「~やっている」「~に取り組んでいる」。問32までは、現在行っていることを「良し」とした前提で問いかけている事には、アンケートそのものの方向性が決まってしまっている。「一通りのことはやっていますよ」という市の傲慢さが余りにも目に付き過ぎます。極論すると、「アンケート」の体を成していない。
- このアンケート用紙がむだにならず、活用されるよう期待したいと思います。

約束2-(1) ひろさき農業・産業おこしに取り組みます【農業振興】

〔農林業〕

- 農地法では5反歩なければ農業ができないようだが、高齢化で放置農園が増している。市民の中には農地規模の野菜づくりをしたい人がたくさんいる。ただし、農地は100坪もあれば良いとのこと。もう少し考え方を变えて、一般の方々が求めやすい対策を。
- 私は、出身は他県になりますが、青森の産業（リンゴ等）を地元で買って送っています。私の地元では、地元の特産品は安く買えます。もう少し地元の産業を安くできないものか。
- 弘前は「りんご」で全国アピールする力がまだまだ足りない。PRの仕方も下手だし、

無農薬の●●さんは全国区になっているのに、市はそれにうまくのってないし、遅れをとっている。彼のリンゴ作りと一般のリンゴ作りの人達のかかえている問題をどうしていくのかをしっかりと考えて1つの「力」としてアピールしていかないと、どちらも忘れられてしまう。

- 商工業は企業や大学等の協力のもと、色々開発をされ少しは明るい兆しも報じられたりもしますが、農・林に関してはさっぱりです。私は市の農林関係や農協とは何をするとどこか分かりません。長年において離農・就職難など耳にしてきましたが、せっかく農業学校で学んだ子供達を、例えば農業企業設立やその類の職場を確保して働ける場所を作ってあげられないものかと思う。スーパーやデパ地下は他県産やロシアの生ワラビまで出ている始末。県南の人達も頑張っていますね。弘前に力がないのではなく、人づくりが出来ていないように思う。
- 農家が元気ないと思います。一生懸命働いても、一向に先が見えません。弘前は、農家が良くなければ潤わないと思っていますので、りんご野菜等、弘前ブランドをぜひ全国の方々に消費して知名度がアップするようアクションをお願いします。
- 現在、実家のりんご農家を手伝っています。最近、観光等に力を入れているのはニュース、雑誌等で拝見しますが、農業の活性化に力が入っていないように感じられます。実家の農家でも、道路整備がされていなかったり、若者が村からいなくなり、農家を継ぐ人がいない。老人が農家を辞めたくても辞められない状況をまざまざと見せつけられます。もう少し農業、農家、村の過疎化にも、もっと目を向け対応をしてほしいです。求人問題も、もっと農家に対するものなど農家を大切にする対策、育てる対策お願いしたいです。
- りんご、米農家だけが優遇されて、野菜、花農家を差別するな。野菜、花農家も同じ農家だ。
- 親戚にりんご農家が多いのですが、昨冬の雪害で果樹に大きな損害が出た。必要ならば戸別に補助金や、税の軽減など、具体策を講じてほしい。講じているのであれば、広報ひろさきなどに、申請先や申請方法などを掲載してほしい。
- 農産物の放射能検査の方法を、Ge（ゲルマニウム半導体）の機器で行い、検出限界値も公表してほしい。東北の中でも、津軽地方は比較的安全なので、Geを使って調べ、本当に安全なのだと証明してアピールするべきだと思う。表面の線量を測るだけでは、ほとんど意味がないです。商工業、子育て関係への対策は素晴らしいと思うの

で、農林への対策をもう少し重要視してほしいです。

- 市の催し物は、例えば土手町の歩行者天国などの行事はできれば私達農家のあまり忙しくない時を望みたい。

約束2-(2) ひろさき農業・産業おこしに取り組みます【観光振興】

〔観光〕

- さくらまつり、ねぷたなどの観光客の人数ですが、何を基準に人数を出してるかわからない。多少多目に出しているようにしか思えない。他地区と競争しなくてもいいのではないか。
- 今春、弘前さくらまつりにあわせて市役所の屋上を解放していただけたのは非常に嬉しく思うと同時に新鮮でありました。市民のみならず、観光客の印象も良かったのではないだろうか。ぜひ、来年以降も継続していただきたく切に願います。
- さくらまつり期間に市庁舎を開放し屋上から公園及び桜、岩木山展望は、大変良いことでありました。ただ、その時間について、午後5時までと伺っていましたが、午後4時30分過ぎに行きましたところ、午後4時30分までの受付であると断われ、見る事ができませんでした。職員等の勤務時間の関係もあり難しいと思いますが、せっかくのサービス（絶好）ですので、できるものであれば夜景についても一考を。
- さくらまつり期間中、早朝AM7：00から入場料を取ることに不満を感じます。散歩に公園を利用して本丸に行こうと思ってもお金を支払わなければならない、せめてAM8：00からとか、市民の証明があれば無料にしてほしいです。
- さくらまつり。出店を全て運動場に一括まとめる。さらに祭りのグレードが上がります。
- 私はさくらまつりの期間中、車椅子応援隊をしているボランティアです。追手門、東内門の出入口に敷いてある板のことですが、観光客の方から毎年いつも苦情を言われ

ます。車椅子がスムーズに通れないとのこと。板が少し高いのでつかえてしまう危険とのこと。確かに車椅子を少し前輪を上げないとひっかかります。2、3年前はベニヤ板だったのでスムーズに通れたのです。門（各）の下にとりつける板はひっかからないようにスムーズに通れる板をつけてくだされば幸いです。さくらまつり期間中は名地方、日本各地から車椅子の利用者も数多く来てくれます。さくらまつりのイメージを悪くしないためにも市はこれまで以上に心配りが必要だと思います。

- 公園廻りに駐車場（大型）がないのも問題。もっと身近にあったらいい。
- りんご公園で夜にりんごの花を見る企画がありましたね、すごく良いと思いました。携わる方は大変でしょうが、とてもいいイベントだと思いました。
- ねぶたの主催者としてもう少し強い姿勢で警察対応してもいいのでは？ねぶたフォーラムに参加したが、弱気な意見しか聞けなかった。正午頃からでも規制をかけ、観光客等にも動いていない状態でゆっくり中を見てもらうなど、昼から楽しめるようにしては？興味をもっている観光客がいて声かけられますよ。
- 本当かどうか分かりませんが、ねぶたがお正月とかさくらまつりなどに出陣しているような話を聞きますが、私はねぶたもねぶたも8月のお盆行事で良いと思います。そうでないと観光のためになり何が何だか分からなくなります。他の土地に出ることも必要ないと思います。特に外国には。
- 伝統文化（ねぶた）など、季節外にやるのはいかがなものか。
- ねぶたのテーマ曲を作ったら？立佞武多があるように、有名人がテーマ曲を歌う。ねぶたをもっとアピールしたら？
- ねぶた運行は、見せる側の自己満足のきらいがあり、見る側はマンネリと感じていて、見る側とも一体となった工夫が必要。昼から通しての祭りの演出があっても良いのでは？
- 駅前公園で7月まででねぶたの笛、太鼓の練習をどこかの町内、または小学校で土、日行う。公園周辺には、ホテルもあり、感交劇場の一部観光にもつながるのでは。8月からは、お山参詣、津軽三味線かな？とにかくそんな音の観光を考えていただけないでしょうか？

- ねぶたまつりで有料席を取りお客を案内したら、目の前に街路樹があり、とても見るのに不自由した。検討願いたい。
- 冬期のイベントが少ないのもっと多くイベントをやってほしい。
- 新年の花火大会は、とても良かったです。本丸から見た花火は最高でした。
- 花火や能など歴史の節目にやった行事はそれっきりで、後々ずっと続ける必要はないと思う。税金の使い方をむだにしないで、あれもこれもではなく地道にじっくりと。
- 能などムダだと思います。400年祭の時はしょうがないけど…。要らない物にお金をかけすぎ。市民としては税金を安くしてほしい。
- 弘前城薪能を続けてほしい。まだ見に行けていないが行ってみたいので。
- 弘前市に住み、長い年月が経ちましたが、近年は盛り上がっているなど感じる事が多くあります。弘前城の築城400年や、街コン、アップルパイの美味しいお店等、楽しそうな告知もたくさんありますし、利用してみたいと思うことも多いです。観光するにも見所あふれる素敵な町だと市民ながらに思います。
- 昨年は弘前城築城400年祭ということで、今までになかった、たくさんのイベントがあり、大変活気のあった年でした。震災のことに対しての思いやりも良かったと思っております。今後も継続して、活気のある弘前市であってほしいです。
- 400年祭を初めあまり祭に関する行事が多すぎると思う。これから少し自粛し、祭の時、野田村等から連れて来る必要がない。
- 観光館を見直してほしい。あれでは五所川原にも負けてしまう。もっと別の場所に考えては。今のでは中途半端でならない。案内嬢も暗いです。
- 日本一の桜だけでは、あきられてしまう。スカイツリーいわく、弘前にも「弘前アップルタワー」とか展望タワーがあれば、また一つ発展していけるのでは。弘前を望める展望台等の施設を設けると良いと思う。
- 観光都市としての岩木山・弘前公園（さくらまつりなど）が見える展望台が必要です。

- 弘前は観光地でありながら有名なお土産がない。低農薬米のPR不足を感じる。青森県産の食材をもっともっとPRし観光客を集められないものか？
- 他市から来た友人が、路地から大通りに出ようと道を尋ねたら「右」の一言です。観光を進めているのに気配りが足りないと思いませんか？市内には昔から町名が多くあります。これを活用しないのはなぜですか。信号機等に親方町、大工町、百石町等入れれば道路案内の時に町名、信号機等一言多くなり、観光客も自分がどこに居るのかもわかる。次に場所の移動も道を聞くにも、土地の人も信号機等に表示している町名を言えば分かりやすく案内できるのではと思います。
- 県外の知人で、弘前へ観光に来た全ての人が「名所や史跡が広範囲に点在しすぎている」と言うのを聞いたことがあります。現在の古建築物等も移転させた物も少なくないと思いますので、ある程度分野ごとにまとめて、それぞれを名所としてアピールをすれば観光活性化につながると思われます。
- 記念行事などが活発に企画運営されているが、総花的で予算がかかりすぎるのではないか。もっと日常生活に地道に役立つものに重点を置くべきではないか。
- 観光資源の豊かな当市は、豊かさの上にあぐらをかいて、現状に満足しているように感じられる。通年観光を目指しているようですが、祭り期間中の集客は春のさくらまつりのみ。夏のねぷたは、青森・五所川原に完全に負けている。弘前スタイルのねぷたは、黒石の方が最近観光客に好評を。秋まつり、冬まつりはマンネリ。特にねぷたまつりは、地域の市民の祭か観光として生きるのか、中途半端さが、青森・五所川原に水をあげられ、黒石にも最近負けていきそうで心配です。
- ペットと共生できるような町づくりをして、県内外から注目されればペット連れの観光客（旅行者）が増えて、活性化につながるのではないかと思います。軽井沢・那須・清里・河口湖・中山湖のような観光地を目指したらどうでしょうか。
- 津軽為信像がなぜ弘前城本丸に置けないのか、当時の新聞にはその理由が報道されました。しかし為信像あつての弘前城です。街中にポツンと置かれては何の意義も感じられません。大方の弘前市民は納得できないと思います。
- 白神山地。もっと手軽に散策出来る環境を作ってほしい。暗門の滝や十二湖など周りには行ったことはあるが、実際に中へ入った人はとても少ないと思う。

- テレビのデータ放送を利用した地域情報の発信、お知らせなど。
- 五月のある日、駅に人を迎えに行ったとき、関西なまりのご夫婦（60～70代）の会話。「おみやげ店のぞいてもいらっしやいませの声もない」「殿様商売もいいどころかりピーターもこないワ」「人参も有名だけれど、どこだ」（たぶん深浦人参かな？）「駅に食堂もない」（そば屋はあるけれど…）あげくのはてには「乗り継ぎのバスの時間まで30分ある。オレは待ってられないヨ」「だから列車で行くと言ったでしょう」と夫婦ゲンカの如し。駅は当地の顔だと思います。1人でも多くの観光客が来てくれるようにとそれぞれ努力しているようすは新聞等で知っております。私も花見の時だけでなくふだんもあの三分の一でも良い観光客が市内を散策してくれたらと思っているのに残念に思いました。

約束2-(3) ひろさき農業・産業おこしに取り組みます

【商工業振興】

〔商工業〕

- 17～18年前の土手町は、今と違いとても楽しかったと思います。自然に足が土手町に向かっていた。今は、なくなったお店がたくさんありますが、そのなくなったお店が土手町を楽しくさせていたと思います。
- 土手町の活性化を早急にすべきだと思う。さくらまつりの観光客の多くが土手町を歩いていたが市民として淋しい商店街を申し訳なく感じた。
- この頃は郊外型の商業施設に人々が集まっている。何故か？ということを考え、土手町を工夫すべきである。
- 土手町の活性化を希望します。そのため土手町の通りを歩行者専用にするべきです。
- 土手町商店街の復興に期待をしたいところですが、街を歩いていて、やはりアーケード（庇）がなくなったのが不便です。雨や雪の時は歩くのを控えてしまいますし、日

射しが強いと、この場合も同じです。楽しくゆっくり買い物を楽しみたいと思います。花や緑も工夫し、ヨーロッパの町並みのようなになったらステキですね。中土手町から教会を通過して吉野町緑地公園へ通じる道をもっと整備した方が良いのではと思います。観光客の方も多く歩いているので、町歩きが楽しいと思わせることも大事だと思います。

- 土手町は結局駐車場が無いので、これ以上栄えるのは難しいと思う。無料駐車場を屋根付けてモール化。
- 土手町(下土手を主に)の衰退は駐車場(無料)がないのが原因だと思う。ず〜と以前から(盛岡や青森のような地下駐車場ができないのなら)蓬来橋の上に中央通り側へ抜ける土淵川に駐車場を作って開放したら便利だろうと考えてきた。
- 土手町現在、中三デパート内にジュンク堂書店ができたことにより、客層が若年層に変わりつつあり、この動きを大切に、土手町通りにシャッター通りになりつつあるため、さくらまつり、ねぶたまつりだけでもシャッターのお店を開け、イスを置き、りんごジュース、水だけの弘前の自販機を置くことにより、回りのお店にお客様が動く、お弁当やくだものを色々考えて観光客にやさしい、接待に心掛けてほしい。そのためにもシャッターの店を開け、市職員が責任を持って管理し、弘前市職員が一般人と同じように改革に取り組んでほしい。
- 弘前に移り住んで6年ですが、首都圏から来た私にとっては街中があまりに淋しく、人の往来が少ないのにはびっくりさせられた。街づくりがうまくいってないと実感させられる。五所川原のエルク街のような大規模施設があれば、にぎわうと思いますが、弘前の人達は、そういう知恵は出せないのでしょうか？
- だんだん弘前市の町は悪くなって、楽しくない。昔のように、デパートや子供たちの遊ぶところが欲しい。今では、五所川原のエルクへばかり行くのが楽しみで、弘前は何にも楽しくない。もっともっと昔のような町になってほしい。買物が楽しい町、このままでは、五所川原に人が取られてしまいます。弘前にも、大きな、そして、楽しいデパートが欲しい。
- 駅通りの旧マルサンの空店舗は、このところスプレー缶で落書きされたり、老朽化も目立ち、とても暗い感じがしています。市の方で解体するか、何か再利用できないのでしょうか。

- 私は高卒後、五十年近く関東地方に就職し住んでおりましたが、よく地方とか出張したりしましたけれど、地方では意外と市でもって運営している飲食店があり、一般の飲食店より安く食事をしたことがあります。弘前へ帰ってきて驚いたのは、市役所に食堂がないことです。ですから駅前あたりに駐車できるような飲食店を開いたらいかがでしょうか？弘前市民はもちろん、出張に来られた方たちにも受けるのではないのでしょうか。メニューも余り多くしたら大変だと思いますから定食とか、あるいは、季節ごとに旬のものを出すとかしたら良いのでは、また、駅前がためなら市役所内に作っては良いと思います
- 弘前に古くから伝わる伝統工芸（こぎん刺し、津軽塗、あけびづる細工、焼物、ブナコ等）に、今以上に光を当てる仕掛けづくりを期待します。ちょっとしたブームになってきた「KOGIN」や、ヒョウ柄みたいと言われる津軽塗（唐塗）など、若い人たちに人気が出てきています。
- 歴史の町なのか、ジャズの町なのか、西洋料理の町なのか。何を目指しているのか方向性が見えない。
- 全国の観光地を見てみると、駐車場がかなり整備されている。弘前ももう少し駐車場の拡充が必要ではないか。（公共施設の移転による場所の確保を図る。学校等）

※ 土手町の活性化に関する意見は、全部で33件ありました。

〔雇用〕

- 地元国立大学があるにもかかわらず卒業しても就職先がないのです。現にうちの息子二人も結局都会に出て行きました。（同級生もほとんど）今でも弘前好きだから帰りたいけど就職先がないとあきらめていますけど、農業、観光に力入れるのも結構ですが、若い人が地元に残れるような、ある程度の会社を誘致して高齢者より若者の多い市になってもらいたいです。
- 若い人が将来的に希望の持てる街にしていきたいです。仕事や娯楽など充実してください。働く場所、賃金もある程度、あげていただかないと暮らしていけません。年寄りには住みよい町でも、若い人たちは大変だと思います。

- 私は現在大学生なのですが、周囲でも就職に困っている人が多く、ハローワークも人であふれています。弘前は病院や観光面においては他の街よりも豊かですので、そうした方面での雇用を増やしてほしいと考えます。今のままでは本当に仕事がなく、正直生きていける自信もないです。こうした将来への不安や諦めが無気力に繋がってしまうのではないのでしょうか。葛西市長にはぜひ、産業面での活性化に力を入れてほしいと考えます。少なくとも未来の子供達のために必要なことであると思います。
- 若い人の雇用を増やしてほしい。経験豊かな人材（60～64才）も必要だが本末転倒。
- 30代～40代への雇用を増やしてほしい。アンケート等により弘前市全体の失業率を把握し、各種商工業振興策や雇用対策に取り組んでほしい。
- 30代、40代の働き盛りの男性が、仕事がなく（する気がないのか）生活保護を受けている人がいる。そういう人達が何とか働ける場を与えてほしいと思う。
- 私は今、仕事をしておりますが、年金をもらえるまでの定年からの数年間、不安です。持病もあります。若者の雇用対策は優先すべきですが、50代～60代に向かう年齢にも目を向けていただきたいと思います。そこで、時給は高くなくてよいので、60才以降もこれまでの仕事の経験を生かせるシステムを作ったらいかがかと思います。多方面の職種のベテランのよさを発揮できるように。お願いします。
- 60才を過ぎるとほとんど働くところがない。働く意欲がまだまだあるのに働く場所がないのは見捨てられているような気がする。
- 職業安定所（ハローワーク）等、現在地は不便なことが多く、駐車場等、また、社会保険事務所（城東地区）も駐車場が少ないため、既に決定してしまっているかもしれませんが、旧ジョッパルの中で運営してもらおうと人が集まり、交通の便も良い等、活性化に繋がると思います。
- 緊急雇用の仕事が元従業員に連絡が行っているのを知っていますか？短期の仕事でも就かなければいけないが経験もない親族もない人間はとても生きていくのが難しい町です。
- 男女共同参画という名のもと、雇用条件に男女の条件がなくとも、実際は男性の仕事だったり女性の仕事だったり手間がかかるので、きちんと条件に書かれるようにし

ていただきたい。

- 仕事が無いので将来が不安である。
- 失業者に対する対策を充実させてほしい。

※ 雇用対策に関する意見は、全部で58件ありました。

[ジョッパル関係]

- ジョッパルの活用について。映画館が入るのもよいが、弘前市をPRできるようなイベントホールや、食に関する各店が多く入る設備にしてほしい。県外・市外から客が来るような工夫をすべき。例えば、演劇・歌舞伎ができるホールも必要かと思う。
- ジョッパルへ、ハローワークの移設。
- 駅前のジョッパル跡にデイサービスなどではなく、もっと活気が戻るよう、若い人達が利用できる内容のものを作ってもらいたい。
- ジョッパルの活用方法。夜間でも利用できる病院の入居促進。
- 旧ダイエーを再利用するなら、宮川交流センターのような茶室（和室が2～3並んでいるような）を作ってください。多目的に使えるような。
- 駅前ジョッパル内に、単館系（アート系）の映画館、津軽三味線の常設ホール（演奏会場）を作ってほしい。
- 元ダイエーの建物内で観光客向けの街、店の紹介（試飲試食も含）花見、ねぶた時期に来られなかった客のために西目屋の白神の映像のような、花見、りんご作業の春先から収穫迄の作業、弘前ねぶたの製作から運行等の画面を観て帰ってもらう映像室があったら、本物見たい、家族、知人も連れて来たいと思って帰ってもらえるのでは？
- ジョッパルの利用法、決まったようだが、私は駅前の利点を活用して尾上総合の通信制なり、中央の夜間なりを持ってきたらどうかと考えていた。図書館ができるなら働

く子供たちの勉強の場にも便利だと思っただが。

約束3 魅力あるまちづくりを進めます

〔安全・安心〕

- 街灯が暗くて、夜道が怖いです。防犯も兼ねて明るくしてください。
- 学校、学童までの道のみでも最低、歩道に柵があればと思う。共働きでは、遅くに一人で歩いてくることもある。車通りが多く、大変危険である。
- お年寄の自転車マナー。一年を通してお年寄の自転車のマナーの悪さが目にあまりみす。特に冬道での走行は大変危険を伴いますので、何かしら対策をお願いしたいと思います。
- 自転車のマナー（並走運転、無灯火、メールをしながらの運転）といったマナーの悪さが中学生・高校生を中心に目立つ。地域間の連携が必要であるといえる。
- 高齢者の自己中な運転を良く見る。本当に危険。後、自転車も。これは公共交通や道路整備、高齢者への呼びかけ（免許を返す等の）がまだまだなのではと思う。
- 市は、ヤクザ（暴力団）対策がなっていない。ほとんどしない状況だ。弘前にはヤクザがいっぱいいる。どうして弘前にはヤクザが多いのか、市当局として対策をしていない、とんでもない市だ。ヤクザ対策をやってほしい。
- 犯罪や事故が多い町は安心して居住することができないので、防犯や交通安全への取り組みを、地域ぐるみでやって、お互いの意識を向上して行ってほしいです。未成年の飲酒、喫煙を全くゼロにするために、何かしてほしいです。より良い弘前づくりのために、頑張ってください。宜しくお願いします。
- 北児童センターと、北小学校の間の側溝に「ふた」をしてほしいです。毎年、1、2回、子供が川に落ちているのを知っていますか？家の子供も1度川に落ちました。自

治体の方にも屁理屈しか返ってきません。宜しくお願いします。

- 小学生の通勤時の安全対策をもう少し徹底してほしいと思います。
- 小学校の通学路の安全が確保されていない。学童の通学路の点検、川にふたをかけてほしい。

〔防災〕

- 地震があったときの備蓄をしてください。（弘前市は何もないと聞きました。）弘前市として防災時の備蓄品がないのは、あり得ない!!早急に準備してください。
- 有事（災害）が起こった時のための飲料水や食糧、日用品等、備蓄してほしい。
- 地震、洪水等の災害時に対するの対策を強化し、市民に示してほしい。
- 市政とは関係ないものかもしれませんが、いつも思う事があるので伝えます。地震速報が出ると、いつも弘前市は他の市町村に比べ遅れて、少したってから震度が発表されているように感じるのですが、気のせいでしょうか。

〔雪国生活〕

- 一年の半分は雪に埋まって生活することを強いられている地域である以上、冬期における除排雪の費用を軽減するため、再生エネルギーを可能な限り手に入れて、それを利活用する。例えば風力発電にて得られた電力で雪を溶かす道路や施設を整備する等、可能性は数多くあると思います。
- 除雪要領が非常にまずい。除雪になってない。除雪後の点検を市職員がするべきである。
- 大雪の降った日、降った雪を片付けるのだけでも大変なのに家の前に重い雪の塊の山を置いていかれるのは本当に本当に泣きたくになります。大通りはともかく、小さい通

りもやはり除雪車を通さないといけないのでしょうか？我が家は普段男手なく、私1人で除雪します。病気になったり、年をとった時、あの雪の塊を片付けられるのか今からとても不安です。

- 冬期間の除雪が年々雑になっているように思う。地域の実情を理解している建設業者に担当してもらいたい。毎年、担当業社が変更しては困る。地区によって明らかに差がある。歩行者（通学児童）に優しい除雪をしてほしい。
- 冬期、除排雪について、市長が代わって良くなったという地区と、全然排雪が来ない地区がある。●●地区は今冬もひどい状況であった。業者を変えてみてはどうか？役所でも巡回してみて、業者に指導してほしい。議員が出ている地区は良いとか、出ていない地区はひどいという風評が出ないようにしっかりしてほしい。
- 除雪しているのは降雪部分のみである。よってこれまでの圧雪路はそのままである。この繰り返しにより、道路面と宅地面に相当の段差が生じ、車の出入りに支障となる。また、圧雪が厚いため、暖気状態になると、ワダチ堀がひどく、車の通行に支障を来たしている。
- 除雪とは、積もった雪を取り除くこと。あなた達が行なっている事は雪おっ付けである。雪寄せにもなっていない。現に、市民が雪を片付け、家の周りをきれいにすると、雪を片付けていない人の周りから雪を片付けている家の周りに雪を運んでいる。もちろん、道路の雪を片付けているところに多くおっ付けている。除雪の時、塀に雪を押し付けているので雪の重さ、重機の圧により塀がひび割れて来ている。塀と雪の間を掘り隙間を造っても、塀に雪を押し付けたり、排雪車で隙間に雪を捨てていく。雪を片付けている場所は、雪が邪魔な理由があり片付けています。片付けているところには雪を捨てたり、押し付けたりしないで欲しい。
- 雪の道、車が走るところだけに重きを置かず、歩道を守る行政に力を入れてください。子供と老人は命がけで暮らしています！！
- 通学路の歩道の除排雪整備が不十分に感じる。冬の通学路を確実に確保してほしい。
- 冬道路は除雪しているが、歩道に雪が積もって歩行が困難なため、買物に出られない。歩道の除雪もしてもらいたい。
- 除雪だけでなく、排雪の回数をふやしてほしい。

- 除排雪について。この冬は雪が多かったにもかかわらず 一度も排雪なし。除雪は車を利用しない者には迷惑である。
- 冬期間の除雪は以前よりは来てくれるようになりましたが、排雪の回数をもっと増やしてほしいです。特に、小路に入ると車が通るのに狭くて大変な時がよくあります。
- 去年、今年と大雪でしたが除雪、排雪いつもより大変良かったです。
- 冬期、排雪設備（融雪溝）に水が流れていないため、使用できない町もある。足で現場を見てほしい。不公平感を感じる。一方、某除排雪業者の方の配慮に感謝したことも。（取り残されている町の声）担当の区域が早めに終わったとのことで、近くだからと見かねて、排雪のサービスをしてくれた業者の方がおられた。そういう善意も、弘前を住みやすいと感じさせる出来事であった。
- 通学路にもかかわらず同じ町会でも融雪溝が両側に設置の道路と何も無い道路があり除雪の対応も悪い。学都弘前としては観光ばかりでなく老人や子供のために平等に融雪溝なり除雪対策に調査を密にする必要がある。
- 融雪について、融雪溝はなぜか弘前の場合、田舎へ行けば行くほど立派な融雪溝がある。田舎の方が空き地などもあり雪の処理には困らないはずなのに、町中の雪の捨て場もないような所には、不思議と融雪溝がない。税金（固定資産）などは町中の人たちの方が支払いしているのに、必要性の優先順位が間違っている。
- 雪に対する対策をもっと考える時期に来ているのではないか。毎年毎年、雪に何億円もかけては？
- 北和徳工業団地入口の交差点から、石渡方面に向かう城北大橋への上り坂にロードヒーティングを入れてほしい。冬に坂を登れない車がいて、渋滞が発生するので、非常に困っています。
- 今年の豪雪後古家屋、小屋が壊れ放置されているのが目立つ。個人所有なので介入できないかもしれないが残念に思う。

※ 除排雪に関する不満の意見等は、全部で84件ありました。

〔道路整備〕

- 幹線道路だけでなく、生活道路の舗装もしっかりやってほしい。現状、穴があった場所をピンポイントで埋めているだけ。道路がでこぼこして、車の振動で家が揺れると、家の壁にひびが入る。
- 幹線道路は、それなりに整備されていますが、一歩路地に入ると、舗装はつぎはぎ、でこぼこ、側溝は古く、とても良いとはいえない。イベント等に金をかけすぎないようにしては？
- 歩道ですが、広くなるのはいいですが、車イスやベビーカーを使う時に段差があり、かなり不便です。同じ側に歩道があればいいのですが、途中から反対側に歩道が移ったりして不便なところもあります。
- できることなら自転車道の整備をお願いしたい。
- 車が大通り（メインの道路）を通らず、近道のために閑静な住宅地を抜けている例が多く、子供の安全と住宅地の静かさを維持するために、通行を制限あるいは路面に大きい凹凸をつけるなど工夫が欲しい。特に、市内住宅地にある大型スーパーでは出入口を多く持ち、危険でうるさい。
- 城東から富田の焼き肉モーモーの道は大変印象が悪い。途中から一車線になるため、無理に車が入り込み危険だし、中央のラベンダーは草の丈が大きくなり、色々な雑草もたくさん。堅田のように整備されていないので不必要！！その分車の道を増やしてほしい。弘前の入口にも通じるので整備が必要なので、車線を増やしてほしい。危険！！汚いラベンダーは要りません！！
- 弘前市の歩道と車道の境目の整備が必要。自転車でも乗り越える時にストレスを感じる。この前は、電動車イスの方が横断歩道から歩道に上がることができずに歩道前で止まってしまい、通行人2人の手を借りて、歩道に上っていた。これから観光関連の産業を活性化する上で、観光客・障害者に優しい歩道整備が必要なのは。
- まちの景観と道路について思うこと。まずは観光都市としての歩道について、市民も

含めて歩行者が安心して歩ける歩道が少ない。電柱や無用と思える花壇は障害物であり（街路樹はよいが）、その歩道を登下校の自転車も列をなして通る。おまけに車道との段差で避けようとして怪我をする危険もある。車椅子でも走行出来るような安心なバリアフリー歩道造りは、立派なタイル（雨の日は滑って危ない）を貼る事でもないと思う（歩く人の足にやさしい素材の道にしてほしい）。道幅を車のために広げた通りは殺風景でまちの趣は失われている感がある。また駅から地下道を通って上ったところの広場も土手町に抜ける道も歩いている人も少なくほとんど活用されているようすがない。古い物を排除し、つくり過ぎてくつろぎのないまちは健康的でないと思える。

- 道路整備はおしつけも甚だしい！農村社会、地域住民を無視したものである。
- 岩木橋の交差点の信号機ですが、とくに岩木から弘前市内方向に進む信号機が、前にトラックなど大きい車がいると見えにくく、危ないと思います。できれば右側にも見えるような信号機を取り付けていただきたいと思います。

〔河川整備〕

- 岩木川の草やゴミの処理や土淵川のウォーキング、または散歩のできる道の掃除や雑草の整備をきちんとしてほしい。（健康のため、ランニングやウォーキングをしたいため）
- 河川の整備について。市の中心部のみ綺麗にしていますが、他の地域は草が生え放題、何も手付かず、水が流れているのかどうか？汚いです。河川を綺麗にするなら、全部やったらどうでしょうか？目に見える表だけやるのでは？
- 町中の土淵川は人と川を近づけるための整備なのですが、むしろ鳥や魚のためにもっと自然に近づける整備をした方が良い気がします。（川に住む生物の楽園に近づける）
- 河川整備ですが、必要あるのでしょうか？かえってごみが溜まり、草が増え、前に居たホタルも姿を消しました。残念です。
- 岩木川は津軽地方にとって、とても大切なものです。事故のないよう安全な水質は保ってほしいと思います。

〔公共交通〕

- 市内の交通の便が良くないので、交通費がかかり過ぎなので、利用者が少ないところなどマイクロバスのようなもので停車もどこでもできるようになれば年寄りなど助かると思っている。
- 食料等の買物に不便なため100円バスを郊外も走られる。(高齢者がだんだん多くなるため)
- 色々と参加したい事もありますが、交通の便が一番ネックになります。種々の移動手段の充実を願っています。
- 弘前さくらまつり期間中に実施されたライド・トゥー・パークについて。無料巡回バス(無料駐車場)の看板の表示が観光客はおろか、市民にも理解されず、特に高田5丁目の臨時駐車場はガラガラの状態であった。表示方法が社会実験など具体性に欠け、もっと分かりやすい表現方法で観光客にアピールした方が良かったのではないかと思う。
- 公共交通の利用者を増やし、自動車を減らす取り組みの実施。
- 郡部の子供達は親に負担をかけまいと自転車通学している子も多い。バス代を半分出してほしいところですが、それができないのであれば、街灯をもっと増やして明るくしてほしい。

〔生活環境〕

- 缶・ビン・プラスチック等を捨てる際、必ずビニール袋に入れて出しますが、収集後の開封後の処理で手間がかかるであろうし、ゴミの量も相当なものになると思います。何とかならないでしょうか。
- リサイクルや昨年、ダンボール・コンポストをやりました。楽しかったので、また気

軽に参加できるのをやってほしい。

- ごみ収集ですが、ペット類と缶、ビン類の収集が、どちらかが一週とぶ月があります。該当月はごみが多く保管に苦労します。見直しを検討すべきでは！
- ゴミステーションから空き缶等の有価物を持ち去っているのを見かけるが、取り締まらないのですか？市の収入源じゃないのですか？盗んだ者勝ちですか？分別収集に協力しているのが馬鹿くさく思えてきて納得できない。
- 犬の散歩をしている人がたくさんいるが、糞尿の始末をしない人が結構いる。条例をつくり、違反者には禁固刑か罰金刑を科すとかしてもらいたい。そこまでしないと、意識改革はできないと思う。
- 街を歩きますと、タバコのポイ捨てがとても目に付き気になります。観光地である弘前市を足元から綺麗にできたらいいなと常に思っている老人です。以前ハワイを旅行した際、街にはタバコの吸い殻は一つも見かけませんでした。罰金を取られるようです。いきなり罰金と言わなくても、何とか良い方法はないもののでしょうか。市職員の皆様の知恵で、綺麗な街になるよう願っております。
- 実家のトイレがまだ汲み取り。家で工事をすれば水洗になるところまでは行ってるらしいが、その費用が出せない。もっと補助してほしい。
- 空き家・空き地対策をしっかりとってもらいたい。「空き家－雪害」「空き地－雑草・害虫」となり、近所が困っている。

〔エネルギー〕

- 太陽光発電や断熱窓等、取り付けへの助成を急いでお願いします。
- リンゴと温泉熱でバイオエタノール生産を。
- りんご公園の夜のライトアップについては反対です。節電、節約をもっと美德と考え、慎ましやかな城下町としての弘前市を大切にされた方が良く考えます。

- 自然エネルギー（太陽光）などの積極的な施策と原発からの決別。
- 3・11超巨大地震で原発は放射能をまき散らす「魔物」に変身しました。日本で一番危険なプラント、六ヶ所村再処理施設がある青森県に住んでいる私達にとって、福島原発事故は他人事ではありません。原発54基全部が停止している今、電力不足にはなっていません。天然ガス、コンバインドサイクル発電でまかなわれているからです。政府、マスコミに踊らされることなく正しい情報を確実につかみ対応してほしいです。市民にも早く情報を教えてほしいです。

〔景観〕

- 市内のパチンコ屋が外観をぶち壊していることにそろそろ気づいてください。恥ずかしくて親戚を呼べません。
- マンションが多すぎる。景観が損なわれる。またまた増えるようだ。景観を重視した京都等を参考にしてはどうか。しかしもう遅い。どうしてこれほどマンションが建つのか？高齢社会のせいにするのか。
- 建物の規制をしていただきたいです。7階以上のものは弘前市に対して不向きです。一度、7階以上のものを許したのが間違いです。
- 市の中心に高層マンションが増えているのが気になります。高さの規制を設けるのはどうでしょう。一度壊れた町並みの景観は戻すことはできません。城下町の町並みをこれ以上壊されないためにも、町並み保存をお願いします。古い建物を保存してほしいです。築城当時の道や町並みを壊して、新しい道路を作るのも止めてほしいです。歩いてゆったりと城下町を楽しめる町にしてもらいたいです。今あるものを大切に…。
- 鎌倉や盛岡のような町はあこがれます。弘前の生んだ偉人や先人達を大切に、静かで落ちついたたたずまいの町を目指してほしいです。賑やかで一瞬の賑わいのイベントばかりが多いように思います。一年を通して、訪れたい人が途切れない「街作り」をお願いします。
- 私は弘前市に住んで13年間になりますが、東京と比較し、とても環境的にも恵まれ、

住みやすい町だと思います。ただ残念なことは、河川にゴミが多く捨てられており、景観が気になります。自宅が堰に面しており、清らかな水の流れに心が洗われる思いがしますが、時々、掃除してもすぐにゴミに汚れてしまいます。市民の意識を環境整美させることによって日本一清潔な街にしたなら、観光客ももっと多く訪れるようになると思います。

- 景観について。この風景は残したいと思う地点は、建築規制も必要では？（例；JR弘前駅玄関からの岩木山は、観光客にとって感動的と思うが、タクシーの待合い通路の屋根が高く、もったいない。蓬来橋からの五重塔など）

〔公園〕

- 弘前公園について一言。今年も見事な桜の花を見せていただきました。どんなにか、お手入れに人件費がかかっているか想像いたします。さて、地元の間人として、公園の散策が大好きで、行くたびに本丸からの景色を見たいと思うのですが、料金のかかるのは少々不満でございます。本丸の天守閣の入場料を払うのはよいと思います。
- 弘前公園の無料化を希望します。公園を散策し、ひと休みしたいと思いますが、有料区域に入っており（昔まで武道館だったところ）休めません。また、人件費がむだなような気もします。維持費もかかるとは思いますが、ぜひ無料化をお願いします。
- 弘前公園にたまに行きますが、歩いて疲れてくると、武徳殿でコーヒーでも飲んで休憩します。その時、本丸に行くつもりはないのに、しかも、売店で買い物もするし、飲食代も払うのに、入園の料金所が手前があるので、料金を支払って武徳殿に行きません。なんだか損した気分になります。
- 公園の木すべてではなくても歩道のそばの木には名札をつけてほしい。
- 先日から一部の公園の一部の道のみ犬の散歩ができるようになりました。一步前進だとは思いますが、私達は草の上を歩いたり、転がったり自由に遊べる場所が欲しいのです。弘前市のすべての公園に立入り禁止というのは驚きでした。今どき、代々木公園でも五稜郭でも京都御所でも自由に入れます。全国から桜を見に来られた犬連れのお客さんは驚かれたと思います。せめて子供のように可愛がっている犬が遊べる北欧の杜のような場所が欲しいです。

- 公園の充実をお願いしたいです。城南付近と城東の公園をよく利用しています。稔町の公園は、ブランコが二つ外され、そのままです。学院大の前の小さい公園ではシーソーが外されてしまいました。城東の公園の中の回るジャングルジムは固定されて動きません。運動公園のアスレチックは面白いものが全部使えなくなっています。予算がないのはわかりますが、子供達のために「危険だから外して終わり」ではなく、修理して直すのもお願いします。
- 交通公園やりんご公園、近くの小さな公園に行っておりますが、運動公園の遊具を整備していただけないでしょうか？人が集まる一つのコミュニケーション・ツールとして、子どもの発達、育成のためにも、ご検討お願いします。
- 長四郎公園の周りにある桜の樹木は大きくなり過ぎ、枝の剪定が必要である。あまり上に伸び過ぎた枝や、わきに広がった枝で、むさ苦しい感じがしてならない。できれば年内に選定して公園の周りをすっきりさせてほしい。

〔上水道・下水道〕

- 水道水は飲めたものではない。昔から今日まで、そのまま飲もうとすると砂混じりの水が出てくる。蛇口に浄水器を付け、3ヶ月ごとに交換している。フィルターが砂で詰まってしまうので。
- 弘前市の水は大丈夫なのか？
- 観光などはもちろん大切に取り組まなければならない課題ですが、市民の生活、例えば、水道管など新しいものに替える期間を短くするなどして、きれいな水が家庭に届くようにしていただきたいです。浄水場でせつかくきれいにしても管が古いとサビが混じっていたり、雑菌が繁殖している。
- 今後はライフサイクルに関わる水道・下水道事業の更新を図る上で、機能診断を実施し補修・補強工事を適時的確に実施するため全体の機能保全計画書を作成し予算化することが重要である。
- 下水道の普及率を100%にしてください。

〔カラス対策〕

- 現在はブルーシートと黄色の布を二重にしてゴミを包み込む形で収集していますが、イマイチ、カラス対策になっておらず、収集日はカラスとの闘いです。収集に巡るのは大変ですが、各家庭がポリバケツで出せば今よりは荒らされづらく、また、各家庭でのゴミの出し方ももっと意識が高くなると思います。
- 弘前市内はカラスがとても多く、それによる被害も大きい。カラス駆除を行政で行なっていることは知っているが、まずカラスを減らすには、ゴミ収集のやり方を変えるべきだと思う。ゴミ収集日に、ただ袋に入ったまま道路に置いて収集するやり方ではだめだと思う。置き場所をある程度決め、カラスがとれないような囲いなどの中に入れるようにすると道路にゴミが散乱する被害も少なくなり、さらには相対的にカラスを減らすことにもつながっていくと思う。
- ごみ収集について、時間が遅い。そのため、カラスなどにより荒らされていても、大まかなごみしか収集せず周りの汚染がひどい。全てのごみ収集場所をBOX（金網）にし、荒らされないよう配慮してほしい。「網」が破れたりしていても、何の対策もしないのはどうしてでしょう。班長任せは困る。
- とにかくカラス問題につきます。弘前公園は、くさい、汚い、カラスのフンだらけ。観光都市が泣きますよ。
- 弘前公園周辺のカラスのフン害。ランニングをする際に、よく弘前公園の周辺を利用するのですが、歩道のフンやその臭いがとても不快ですし、景観もひどく損なわれています。テレビや新聞などでさまざまな対策をとっているのは既に知っているのですが、ぜひもう少し効果のある方法をご検討していただきたいと思います。
- カラス対策を強化してほしい。ゴミの問題はもちろん、スズメなど小動物もカラスのせいで激減しているように思われる。“追い出し作戦”など生ぬるい。“駆除作戦”に切り替えて、弘前市からカラスをいなくしてほしいとまで思っている。“文化の街弘前”の夕方の空を数えきれないほどのカラスが飛んでいるのは無気味である。

約束4-(1) 子育てするなら弘前で、を目指します【子育て】

〔子育て環境〕

- 共働きの場合、0～5歳児の育児サポートが必須です。収入によらず、サポートを受けられる施設やスタッフの確保、その情報がわかりやすく、手に取りやすい形で広められるようにしてほしい。
- 子育て支援に関しては、保育所の整備や世帯主に困難が生じた場合の子供に対する給付金の整備など、早急に取り組むべきである。
- 保育料の無料化や、もしくは軽減措置を行ってほしい。少子化が進む中、子供を育てていく中で、受け皿の確立を行う事で安心して子供を産み、育てていくことができるのでぜひ検討してもらいたい。また、就学前まで、医療費の無料化を実現させてほしい。
- 保育園入園についてのお願い。保育園は、自宅近くのところを選択してもらいたい。入園については、夫婦共働きの人が優先され、小学校の学区も全く異なるような遠いところからわざわざ通園させている人も少なくない。こういう人がいると、近くの保育園に入れたいのに、母親が仕事をしないと、入園することができない。仕事をしたくても、さまざまな理由でできない母親も多いのに、さらに、保育園の入園で不利な状況におかれるのは納得できません。検討をお願いします。
- 子供手当について、現在3才まで増額となっていますが、一番お金のかかる中学生の3年間へ割り当てをかえてほしい。3才までは医療費もかからず、色々と免除対象になっている。今は、出産時の費用も一旦自費を出すこともなく、余計に親になる責任のようなものがないまま、簡単に親になっている人もいます。目先のお金として、3才までの子供に配るよりは、本当に必要となっている時期にしてほしいと思いました。
- いつも思っていることですが、若い人達が結婚するために一生懸命にお金をためて結婚しても、出産のためのお金が何十万とかかるので子供を産むこともできないと思います。出産の時のお金を本人が病院に払うのではなく、病院のほうから市役所の方へ

請求して払ってもらえるようにすれば若い人達も子供を産めると思います。そうでないと年寄りばかりふえて、それを支えていく若い人達が少ないので国が減びてしまうと思います。これからの若い人達がかわいそうだと思います。

- 一人っ子、片親家庭に対する施策をもっと充実させていただきたい。心配ごと相談の窓口の充実、適切なアドバイザー、同環境の親同士が話し合える場を設ける。グチを言い合ったり、慰め合ったりできるような機会と場。
- 子育て支援に昔のおばあちゃんの知恵を生かす催しを多くして世代交流を増やしてほしい。
- 現在、妻が妊娠中であり今年産まれる予定だが、経済面でとても不安である。社会保障をもっと充実させてほしい。子供が産まれてからの不安、老後の不安がとても大きい。「弘前はこうやっています」ということをもっと増やしてもよいのでは？
- 病児保育の充実を。市内に2カ所しかなく、各4人ずつなんて少ない。預けられるおうち超ラッキーな感じです。祖父母や頼れる人が近くにいれば良いけど、いないので結局母親が仕事を休むしかない。だから、小さい子持ちの母親は仕事が見つかりにくい。
- もっと支援センターをふやし、子育てしやすい市にするべきと思う。青森市は各所にあるが、弘前は少なすぎる。とくに、子供や年配が重要になってくるのに、重要度が低すぎると感じる。もっと子供や年配者にやさしい市にすれば住みやすいと思う。
- 生涯学習センターや東部児童センター、公民館等の公共の施設の一部屋や一部分でもいいので、幼児から小学生の親子が自由に遊べるスペースを作ってほしいです。雨天時、長期休み、夏場、冬場、室外活動が厳しい時、家にこもってしまうより、他の友達とコミュニケーションもとれるし、できれば体を動かせるスペースがあると良いと思います。小学校の体育館も休日に開放するのもいいのでは？
- 不妊治療でも悩んでいる方も多いようです。援助していただきたい。
- 3歳児健診、封筒が全くポストに入らなかった。ポストに収まるサイズの封筒にしてほしい。医師の態度が不満だった。優しく親切な方もいたが、鼻で笑われたり、人数が多いから適当な感じを受けた。

- 小学生が1人で通学していることはめずらしくない日本である。危険な場面に遭遇することはいつもある。これまで事件が起こらないこと自体、奇跡である。米国、英国などではスクールバス、親の送り迎えが当然である。子供が1人で街を歩いていることはない。英国では、親が迎えに来て初めて子供が下校できる。事件が起こってからでは遅い。日本に前例がないからできないではない。弘前が学園都市をうたうならば、日本で最初の全校スクールバス、あるいは親の送り迎えを義務化すべきである。葛西市政は後世に残るであろう。弘前モデルとして。
- 障害を持っている子の放課後保育についてや送迎の支援への対策について、もう少し考えてほしいと思う。障害のある子を持つ親として、また、仕事として障害を持つ児童・生徒に関わるものとして、市だけでなく国に対しても不満がある。実態をもっと見てほしい。
- 私には子供が3人いますが、育児休暇を取れず、産休だけですぐ仕事に復帰しなくてはいけない状態でした。企業の経営状況にもよるのかもしれませんが、やはりまだまだ女性にとっては子育てしながら働くというのは難しいのかなと感じています。もっともっと「子育てと仕事の両立」という環境を整えてもらわないと、安心して出産はできないと思います。子どもができたら仕事を辞めないといけない、そんな会社たくさんありますから。

〔放課後対策〕

- 弘前の子育て家庭はほとんどが共働き。なかよし会の時間帯の充実、病児保育室の充実等を望みます。
- なかよし会について。3年生まででなく、6年生までにすることはできないものか？「4年生になったから、1人で家で待ってなさい」はちょっと大変なのでは。4年生になったから、なかよし会に入れず、遠くの学童保育へ通わなければならなくなった子供もいるから。
- なかよしクラブ、児童センターの職員に対して不満がある。子供を叱るにしても、あまりに子供のプライドを無視した方法で叱っている職員を見かける。見せしめのような方法はよくないと思うし、直すべきだと思う。子供を預かっているのに、不満があっても口に出せずみんな我慢している。気づいてほしい。他の保護者がいる時でも、

児童の事を悪く言う職員がいる。聞こえた、こちらが都合が悪い。

- 最近共働きが多くなってきていますが、なかよし会等に入れなければ、仕事ができないというのも多くなってきていると思います。そこでなかよし会の時間帯ですが、せめて19時くらいまで面倒をみてもらえるようにしてくれたら、金額面の高い学童保育に入れなくてもいいのではないかと前から思っていました。私の家ではもう利用しなくなりましたが、やはり働くお母さんにとって、安価で安心して面倒みてくれる、そういうところが少しずつでも増えていくと仕事もしやすいのではないかと思います。

〔健全育成〕

- 市内のゲームセンターのメダルスロット機を排除してください。小中学生がしていましたが教育上どうでしょうか？親だけの責任とは言わせませんよ。
- 今後、緩やかな人口減少社会に不可逆的に進んでいくことは避けられないことだ。学都「弘前」には誇れるものがたくさんあるが、その一つに、青少年の健全育成と、人材育成も掲げてはどうか。市内の中学生在が荒れているとの報道をよく耳にするが、反面、将来のリーダーは育てているのか。短期、長期合宿型のリーダー育成塾を開設したり、小中一貫教育校などに踏み込んでどうか。
- リーダーシップのとれる人材育成が必要と思う。
- 青少年の健全育成において学校の果たす役割は大きいですが、先生方にさらに何かをやらせて健全育成を進めるのではなく、ゆとりある教育により、先生と子供が触れ合う時間を確保してやることの方が重要。先生は忙しすぎて子供とじっくり向き合うことができていない。
- 小さなお子様に対する相談窓口は充実しているように思えますが、思春期の子供に対する相談窓口がないように思います。息子が高校生時にグレて相談したくてもできませんでした。学校の先生方も自分の事で精一杯のようでとても困りました。今やっと社会人となり、落ち着いてくれましたが、幼少期よりむしろ思春期の方が手に追えないような気がします。

約束4-(2) 子育てするなら弘前で、を目指します【人づくり】

〔教育・学力〕

- 小学校の部活動は、先生が全く関与しないで部員のPTA負担で外部コーチを有償で依頼し、道具もそろえている。全ての管理等、PTAの中で実施しているので見えない部分が多い。学校側も少しは金の管理、部員の健康管理をする教員をあてがってほしい。
- 小学校で吹奏楽のボランティア指導に携わっております。小学校の部活動は、学校より切り離され、任意組織の運営が現状です。私共の子供達が使っている楽器は、学校にある備品を学校より借用して使用しておりますが、老朽化が激しく20～30年を経過しております。新規購入は父母方の持ち出し金では限界もあり、卒業すれば寄贈の形となり多少の矛盾も感じます。市内小学校にはかつて活躍し、この先活動の見込みも無く、相当数が眠っている楽器が存在するのが現状です。そこで御提案したいのが、音楽教材として必要な部分を除いて、余剰分をプール、データ化し、しかるべき部署で管理運営して、希望の団体に移動、または管理委託させてほしいのです。これも市民の財産、血税だと思しますので、有効活用されてしかるべきものと考えます。弊害となる条例、慣習等を一考いただき、弘前の文化の一端を担う、将来ある子供達の可能性の芽を発揮しやすいシステムづくりを御検討くださるよう、切に願います。
- 中学生の子どもが学校での昼食の時間が5～10分程度しかなく、せっかくの給食が食べられないと言っています。通っている中学校だけがそうなのか、他の中学校でも同様なのかわかりませんが、15～30分程度食べる時間があっても良いと思っています。
- 高校の前期・後期試験も、後期受験不合格だった親は、皆この制度に反対しています。子供の負担、落胆は見ていてかわいそうなほどです。意見がないと思います。苦しんでいる子供たちが多くいることを知ってください。
- 2児の母ですが、小、中、高校ともいじめ、学級崩壊がとても多いと聞きます。いじめの調査をしても、いじめられている子が話すことはないのです。数は調査以上だと思います。先生だけでは対応できない状態だと思います。CMでも「いじめのない県

にしましょう」と入っていましたが、最重要課題で取り組んでください。1クラスに不登校児童が1人以上いるのです。力を貸し、案を、対策をお願いします。

- 教育者（小・中学校教師）の指導をもっとしっかりとしてほしい。あいさつすらできない校長、教師がいる。
- 先日子ども悩み相談電話のパフレットを見ました。文章ばかりであまりよくなかった。子供も見ることがないと思う。
- これからの将来を担う子供達の教育、環境について整備が必要と思われます。中学生・高校生はこれからのグローバル社会で、もっと英語が話せる、活用できる指導、ネイティブな英語教師（今の中学・高校のベテラン教師の英語の発音はひどい。棒読みです。ぜひ、外国人教師の派遣などで正しい英会話ができる子供達に育ててほしい。）読むことはできても話せないのが現状。高校についてですが、義務教育ではないので、市政ではどうすることもできないと思いますが、弘前は学園都市とうたっている割には、学校がある場所が集中しすぎています。通学にお金と時間がかかります。スクールバスの活用（季節限定、冬のみ）、弘前は中南地区からも通学に来る生徒は多いです。県立、私立ともに教育にお金（予算）を掛けて、将来に投資してほしい。
- 小、中学校における特別支援教育を含む教育環境をもっとよくしてほしいです。ゆとり教育により子供達へのさらなる負担が増えているように思われます。しょうがい等のあるなしにかかわらず、すべての子供達が無理なく習得できる環境づくり、指導者の育成に力を入れてほしいです。また、中学校さらに高校と発達しょうがいや軽度のしょうがいの子供達への理解等を強くしていただきたいです。

〔大学〕

- 弘大をもっとPRしたらいいと思う。
- 東奥日報の社説で見たのですが弘大の経済効果を一層活用して共存共栄してほしいと思っています。それには、諸経費の削減等できることをして、少しでも、研究費を援助してほしいと思います。近頃サケの鼻軟骨を原料としたものが世界一などとコマースシャルで出ていたりすると「ヤッター」とすごく楽しくなります。「プロテオグリカン」できないことでしょうか？でもやってほしいです。私も製品を買って応援します。

- 子供を大学にやりたくても何らかの事情でやれない時のための奨学金も借入れできないのはおかしい。奨学金というものは、子供のために子供が大学終了し働いて返して行くものなのでしょう？借入れができない、それでは余りにも子供がかわいそう。進学したいのに行けないこの状態、大変おかしいと思う。どうにかしてほしい。
- 進学したい子供達にもっと力を！！母子家庭の母より。しかも病気のため、生保です。

〔生涯学習〕

- 駅の近くに文化的教室や会合可能な場所がないのが不自由。文化都市のアピールが必要。個人の家で短歌教室を開いている。
- 地元の企業に約40年、定年まで働き、いざ年金生活と楽しみにしていたが市等で主催している生涯活動等利用しようとする年齢制限や人数制限があり、利用したくとも利用できない。
- 高齢者にとって楽しい場所、楽しむ場所が、各地域・各町内にあればよいと思っています。地区外にあってもよいのですが、そうであるならば交通の便を考えてほしい。例えば、お茶、お菓子を持ち寄って、ゆっくり、のんびり、お話できる場とか、体を動かせる場、買物してゆっくり休める場等々、ひとり暮らしの人が多く、何かとお話するところ、場所をぜひ、気軽に行ける場をつくってほしいと思います。
- 学習センターで行っているパソコン講座は税金のむだではないですか？ボランティアと言っていますが、必要あれば学校等に行くはずだと思います。

〔文化振興〕

- 学都と言われて居ますが、文化の面で相当遅れを感じます。
- 以前、駅前公園で男親がチェロを弾き、子供が周りで遊んでいる、とても美しい情景を見ました。そして、こんな景色を見られる土地に生まれたことが誇らしく思えまし

た。「ピアニストを撃つな」そんな芸術を大切にしたい町でありたいと思います。

- 弘前市が昔から持っている芸術・文化的団体をもっと市がバックアップできる仕組みの検討を！地方都市で弘前市ほどさまざまな活動団体があるところは他にないのではと思う。これは、県内でみても他にない弘前市の無形財産に近いと言える。弘前大学を抱えた、より文化的香りのする都市づくりを進めてほしい。
- 東照宮の保存をお願いします。弘前の宝である。どうにかできなかったのかと残念に思っている。
- 東照宮を初めとする歴史的建物（=観光資源）の手入れをするようにしてほしい。荒れ放題の状況で、非常にもったいない。重要な観光資源であると認識することが大切ではないかと考えられる。
- 弘前城築城400年祭記念事業で薪能を計画、実施されたことは私としてとても感動的で、古典芸能に触れ、その素晴らしさを実感できました。今年も6月に薪能を計画されているようですが、大変嬉しく思いますが、2年連続はどうかなと思います。できれば会場を屋内とし（市民会館）能舞台での観能を実施してほしかったと思います。次回を期待しておりますので、ぜひ実現してほしいです。
- 津軽民謡、津軽手踊り、津軽三味線こそは、この地方を象徴する昔から育まれてきた文化である。これらに非常に魅力を感じている県外の人々も多いように思える。アップルパイ、洋館の街等、新たな文化の開発もよいが、昔からの文化遺産をなおざりにしてはならない。
- 伝統文化を守ろうとしない人達には困る。新しい物好きが多く、伝えられた文化を勝手に変えて喜んでいる。400年祭の行列に至っては、それ以前10年前の県民文化祭の行列さえ知らない行政側は仕事をしているのだろうかと思う。他の地の伝統ある祭りを見るに、復元し、習い、盛んに行われている。弘前には季節により祭りがあったことを知るべきである。個々と伝承している者のあることを知り、しきたり、かまえ等を学ぶべきであろう。
- 地方出身の有名人、奈良美智さんとか、若い方、人気の方々の作家、画家、芸術家の作品展を開催し、地元の作家、画家さんなどの紹介をする。または全国から無名の方々の参加を募るのはいかがでしょうか。

- 青森市一棟方志功記念館、七戸町一鷹山宇一記念美術館あり、弘前の名誉市民である工藤甲人の記念館がないのは残念に思います。
- 美術に関するものが、博物館だけでは不足ではないかと思う。美術館が必要で資料をもっと募集するべきと思う。

〔スポーツ・レクリエーション〕

- スポレク活動が出来る場所を多くしてほしい。
- 武道館をもっと活用すべき！（ライブ、格闘技、プロレス、イベント）
- 市民の考え、良くアンケートを調べ、良いレクリエーションを行ってほしい。特に高齢者への行動を希望します。
- 夏の市民参加の盆踊りの復活！
- 冬国に住み、冬になってもスポーツがしたい。ジョギング・ウォーキング・なわとびなどしたい市民も多いと思う。だが、市の体育館へ問い合わせると、卓球とバドミントン以外は全てお断り状態だ。ジョギング・ウォーキングがしたい場合、どこへ行ったらいいのだろうか。河西体育館の2Fは、ジョギング・ウォーキングするスペースは充分あるが、卓球とバドミントンにしか貸さないし、子供がなわとびを持っていたら、床に傷がつくから禁止と言われた。冬の期間、子供から大人まで、どこで体を動かせばいいのか教えてほしい。陸上競技をやっている子供達が30～50mでもいいから走りたいと言っても、走らせてくれる場所が全くない。市の体育館ががらんと空いていても利用できない体制を改善してほしい。
- 旧一大小学校をもっと活用できませんか。音楽練習したい人もいます。他にもいろいろ安い金額で場所使いたい人もいます…教室など。
- 各種事業に身障者も気楽に参加できる社会環境が欲しい。
- 岩木川市民ゴルフ場。思い切ってもっと手軽に利用。値下げ、割引き、1000円デーなど。

- 岩木川市民ゴルフ場を閉鎖すること。
- 河川敷ミニゴルフ場について。ほんの一部の利用者に私達の税金が使われていることについて大いに不満があります。
- ゴルフ場の前（河原）をよく通りますが、ゴルフをしている人がとても少ないですね。閉鎖しても良いのではないのでしょうか？市民の運動のためといいますが人口に比べたらほんの少しの人のために市のお金を使う時代ではないと思いますので！それを堂々と言える市長になってほしいものです。

〔国内外交流〕

- これからは国際化の時代なので、これからは担う子供達に夏休み期間、海外で学習する機会を市が作ってくれたら良いと思います。若い時の貴重な経験は、人生においてものすごい財産になることと思います。

〔公共施設〕

- 税収増加見直しが立ちにくい現在、市の公共施設の利用料を抜本的に見直す時期が来ている。少なくとも、年度収益がプラス・マイナス・ゼロになる程度にしないと、税負担となつてのしかかってくることと懸念している。受益者負担の割合はもっと高くてもいいのではないか？（市民体育館他スポーツ施設が顕著である。）
- 図書館が小さすぎる!!青森のアウガにある図書館ぐらい大きい図書館の設備がうらやましい。
- 休みの日に子供達が図書館等を利用していますが、御飯を食べるところがないので可哀想です。晴れの日には外の椅子で食べられますが、雨や雪の日には食べる場所がないので可哀想です。食べられる場所があったらいいと思います。
- 雪国なのに、スケート場（ウィンタースポーツ等）の設備が少ない！！

- 冬のレジャーとして、身近に（遠くでなく）スケート場がほしい。冬手軽に楽しめて、コミュニケーション作りに役立つと思う。
- 市政とは直接関係ないかもしれませんが、弘前市近郊に雨の日に遊びに行ける屋内施設がないのが残念です。例えば、たか丸くんのお誕生会の際にやっていた積み木とか木の遊具とかの遊び場みたいな場所を有料でもいいので作ってほしいです。（ジョッパルのフロアに広いスペースをとるとかで。）
- 未就学児の子を持つ母です。弘前はとても住みやすい町だと思っています。ただ、子育てしやすい町かと聞かれると疑問です。いつも思うのは、冬場、子供たちが走り回って遊べる場所がなくて残念です。天気の良い日は雪遊びをしますが、長い冬、そうでない日は、ひたすら家の中にいるだけしかありません。無料で遊べるような場所、ぜひご検討ください。
- 旧岩木町に在住です。「中央公民館」ならびに「アソベール」の地域住民に身近で使いやすく、何よりも地域住民からそのネーミングで決定した「アソベール」が合併と共に使いにくい（勝手が悪い）公共の建物（この場合は単なる建造物）になりました。「アソベール」をより有効に楽しもうと「有志会」も設立した時期もありましたが、今は？地域に開放されてこそその「アソベール」。地域住民の独創性が発揮されて、建物本来の存在意義が生まれてくるのでは？管理に関しての人件費等は理解できるが、住民が活性し何より子供達があるゆる場面で「アソベール」を『利用』し、かつ『出来る』機会を造ってあげられるようにできないものか？そのための人件費は投資では？
- 笹森体育館を週1回利用していますが、冬場、暖房機が6機あるのに、もう10年近く4機しか動かず、暖房費は払っているのに事務室に話をすると、市役所に話をすると予算がないと言われるとの返事。ただ泣き寝入りの状態です。また、7月からはどういうことなのか、抽選で利用しなければならないとのことで、それも2ヶ月前に申し込んでとのこと。本当に困惑の状態です。高齢者の週1回の楽しみを取り上げないでください。
- 具体的に、小・中学校合併で、空いた学校を利用し、市民が活用できるようにする。特に、歩いて行ける場所であれば利用する市民は増えると思います。

約束5 命と暮らしを守ります

〔社会福祉〕

- 生活保護世帯に対する取扱いについて、支給条件について、当人の身の振り方等、または支給決定するに余り簡単に支給決定しているように見受けられるし、弘前は特に支給について甘いと言われている。一考が必要である。
- 生活保護の見直しについて提案したいと思う。若くても老人でも、どうしても事情があり生活の苦しい人には保護してもよいが、若くて働ける人には仕事場を与え（例えば公園の整備など）、私も医療関係の仕事をしているが、生活保護の人たちの通院が多い。医療費も後期高齢者は1割負担なので、無料にしないで幾らか負担してもらいたい。
- 生活保護受給者に冬期（11月～3月）手当がある。年金受給者への冬期手当を支給するよう上申すること。
- 生活保護を受けている人より、まじめに年金を納めている人の受給額が少ないのはおかしい。生活保護費の横領があったから、保護費が適正に使われていないのは証明されているので、すぐに改善すべき。
- 生活保護の支給に対して、市民（国民）は年金より生活保護を受けた方が良いという考えが広がっています。以前は自家用車を持っていてパチンコや喫茶店でコーヒー飲んで時間を過ごしている方を知っていますが、税金の使い方を正しくまじめに一生懸命生きている人がつらい思いをするような市政にだけはしないでください。
- 生活保護係に対して。金額が足りず食事からすぐみじめというか、弘前市は少なすぎると思います。聞くと、冬は石油とかのため金額が2万増えていますけど、計算してあげたら月9万少し!!可哀想です。何とも言えませんが、弘前に居る自分もどうもしてあげられず。
- 高齢者、1人暮らしが増えています。市政ではもう少しそういう方々にも目を向けてほしい。私は1人暮らしですごく不安な時があります。どうか町内単位で結構ですから考えてほしいです。

- 老人の問題や子供たちの特別支援の重要性など、福祉関係に力を入れてほしいです。スウェーデンとはいきませんが、差別なくみんなが住み良い弘前市となれるよう、お願いしたいです。
- 障害者支援にもっと力を入れてください。知的障害・ADHD（発達障害）・LD（学習障害）・自閉症・アスペルガー症候群等、近年ふえています。
- 小学2年の自閉症の息子がいます。弘前公園の有料で、手帳を見せると「0円」のときと「100円」取られる時とあります。息子は多動なので、その場で聞くこともできず、言われた通りにしていますが、統一した方が良いと思います。
- 障害児を育てて、福祉関係ではかなり守られていてありがたいのですが、例えば、プールの更衣室等、ユニバーサル・スペースがあるといいなと思います。お金をかける必要はなくて、カーテンで仕切るだけでもいいので、まだ着替えに見守りが必要な場合はスペースを確保していただくと助かります。
- 自殺予防のメッセージ等、ラジオで呼び掛けたり、公開講座を行ったりされていますが、より住みやすい町づくりのために精神保健福祉の充実を望みます。取り組みの結果も分かりやすい形で公開してほしいなと思います。保健所の相談を1/月から、1/2ヶ月に減らしたのは件数が少ないからだとは思いますが、だからといって相談機関の補充や、市民のメンタルヘルスの向上がなされていないのが現実ではないかと思えます。雇用対策や農業対策なども間接的に関わってくると思いますが、青少年向けのメンタルヘルス対策もより一層の充実（予防的な心理教育など）を望みます。市政に携わる皆様も大変とは思いますが、これからも住みよい町づくりのためによりしくお願いします。

〔保健医療〕

- 国民健康保険証について。保険証の色が違う。全額（10割）負担というのは、おかしいです。少なくとも毎月払っているのですから。お金がないから滞納しているわけで、10割負担となると、病院に行きたくても行けないこともある。
- 私はひとり親世帯です。子供の医療費は、以前は支払いをして後から還付されています。

したが、何年か前に窓口負担ゼロでとてもありがたいです。親の方も同じようになることを望みます。親の私も正直窓口の支払いがキツくて、歯が痛くても我慢したりと、病院へ行くのを何ヶ月も遅らせて行っています。例えば5月に受診してもお金が入金になるのは7月末ですよ。けっこう長い期間ですよ。親は窓口支払い千円までにはならないでしょうか？そうすれば還付手続きに行く手間も省けるし、そちらの入金作業も楽になりますよ。要らない仕事をしなくて済むのではないですか？他の地域ではこれを実行しているところもあったり、これから先可能性があるところもあります。聞いたところ、弘前市は「ない」と即答されました。

- 保健センターで夜間に受診した時の看護師、医師の対応が冷たい。なるべく行かないように我慢して、やはり心配になって行ったのに（子供の高熱）、あんな態度を取られるなら二度と利用したくない。
- 急患診療所から、当番の病院に紹介されて行きましたが、2時間以上も待たされました。途中で診療を受けずに帰る人もいました。消防に問い合わせると、まず当番の病院を知らせます。（急患診療所ではなく）それが、軽症の人も来て、重症の人の診療が遅れる原因だと思います。夜や休日に適切な医療を受けられるよう早急に対策をお願いします。
- 子宮頸がん予防ワクチンの無料接種年齢を20歳に延ばしてほしい。
- 乳幼児の医療費は24時間無料だが、日中行けるにもかかわらず夜間を利用している人も多いため、夜間は有料にし、3才までを4才～6才までに引き上げてはどうか。
- 介護制度についての見直しをしてほしい。病気で入院の際、今、死を目前にしている病人に対して3ヶ月の期間が来たから施設の入所または転院への強行性をなくしてほしい。
- 軽度障害児（発達）の母です。弘前は、国立大学や付属の病院があることもあり、発達障害児への療育や、保護者へのトレーニングなどが積極的に行われているのかと思いましたが、そうではなかったようで、とても残念です。ぜひ、保護者向けのペアレント・トレーニングを行ってほしい、お願い申し上げます。

約束6 津軽地域の中核都市として、近隣市町村との連携強化を図ります

〔広域行政〕

- 最近、弘前市の地価が高いことから、若い人が平川市松崎地区に新居を設けている。職場、生まれは弘前市、現住所は松崎地区等、若者が松崎方面に流れている。今後の若者対策の課題である。
- 周辺地域との町村合併に対し、市長はどのように考えているのかわからない。大鰐町や黒石市は赤字団体であるが、行政は広域的に物事を進めていかなければならない時代となっている。県と協力して、周辺地域と歩み寄ることが大切。

約束7 市職員のパワーを引き出し、市役所の仕事力を高めます

〔行政運営〕

- 職員の接客態度は横柄である。
- 職員ももっと明るい対応を心掛けるべき。上から目線はやめてもらいたい。
- 市職員はどうして地域であんなに威張っているのですか？まともに挨拶もできない方ばかりです。何が偉いのでしょうか？
- 市役所職員の言動がとても良くなったと感じます。しかし、外ではまだ役所風を吹かせている人がおりますので、役所勤めが一番という思いが強いようです。
- 市職員の方々は擦れ違っても挨拶もしない。市長がどう思っていますか？これで良いですか。全然だめですね。

- 市職員の態度が悪いです。大阪市みたいに入れ墨やタトゥーをしている人は早く辞めさせるべきです。入れ墨連中より、していない人の方が税金を払っているのですから。市職員はあまりにも知識が足りない。一般の社員らに比べれば市職員たちは給料がいいのですから、もっと気を引き締めてやること。
- 市役所の職員の対応が悪い人がいる。相談をしているのに、親身になってくれない人もいる。(とても親切な人もいます。)
- 市職員の方は対応がとてもいい人と、すごく悪い人がはっきりと分かります。きちんとした対応をお願いします。
- 市職員の対応に差がありすぎる。気持ち良い対応の方もいれば、基本的なマナーが出来ていない方など…。電話をかけた際、先にガチャッと切られ、少しがっかりしました。
- 市役所の方とも仕事をする機会が多いですが、一部を除いてとても良くしてもらい、本当に頭が下がる思いです。公務員への風当たりが強い時代ですが、感謝している市民も多くいることを覚えていてほしいと思います。
- 市役所での職員の対応は以前より親切でとても良くなっています。
- 近頃市役所を利用する事が多いが、数年前に利用した時より職員の態度が良くなっていたのにおどろいた。以前は、行きたくなかったが、今はみな親切で利用しやすくなった。
- 「お役所仕事」という言葉があるが、民間で働いた私の経験・感覚とはあまりにも差がありすぎ、あきれる。民間の競争感覚を少しは取り入れるべきだ。今の時代では「民間レベル」の仕事ぶりをしないといけない。窓口対応している職員を見る限り「全員新入職員・臨時職員か？」と見え、民間レベルでは絶対選ばれることはなく、今にも倒産する企業の職員研修など受けたこともない人のように見える対応です。
- 職員について。正面入口から入って左側に書類を最初に書くところがある。そこで書き方を教えてもらって持っていくと、●●課へ行って書き間違いだと言われ、また入口の方へ戻され、書き直すこと数回。うその書き方を教えるのはやめてほしい。

- 市役所職員も人数は多いが、仕事が細分化されているので、自分以外の仕事に手伝いをしていないようです。
- 電話でよいものも、担当者が不在の時は何回も市役所参りをしなければなりません。よく研究してください。
- 市役所職員の対応について。以前、「市役所へ手続に来てください」と通知が来て、平日に休みを取ったところ、「担当の者が休みなので、後日来てください」と言われました。平気で「出直せ」と市民に言えるのは、やっぱりお役所仕事だと思いました。
- りんご公園にて11月の収穫祭の際、アップルパイを作っていた職員が飲食をしながらの作業でした。それを見ていた千葉からの観光客が「そんな態度だから田舎なんだ」と言っていました。私も同感です。見ている人は見ているので、きちんとした態度が必要です。
- 主に市民課をたまに利用するが、質問に対する、市の条例・県の条例等、不勉強な職員が散見される。むしろその上司等がその任に当たるよう、責任をもった対応が必要となろう。
- 最近感じたこと。受付（案内）の係の女性の言葉遣い、態度に少々がっかり。城下町、弘前らしい接し方を望みます。（以前は余り感じたことはなかったのに）ちょうど、さくらまつりの期間中でした。
- 窓口受付には、きちんと説明や対応の出来る方を置いてほしい。20分～30分待っている方には、「お待たせしました」の一言挨拶の出来るように。先月、国保年金課に行ったときのこと、書類（謄本、抄本）を見た若い女子職員が奥へ行ったきり30分待たされ、お待たせしましたの一言もなく、これは社会保険の方へ。社会保険へ行ったら市役所へ。また、次の日、市役所へ、また、書類を持って社会保険へ。ここでも何回も足を運んでもらうのは悪いからと全部書類できたら郵送してくださいとのこと、良いことは役所でも見習ってください。
- 転入時に市民課で「市民便利帳くらし弘前」「健康と福祉ごよみ」、最新の「広報ひろさき」、転入地域の「ごみの収集日程表」が一度にいただけるなら、少々時間がかかっても入手先や方法がわからない転入者には、日数をかけずに必要な情報が手元にあることは、弘前で良かったとほっとさせる第一歩である。（市役所での対応が弘前の印象を良くも悪くもする。＝弘前市役所職員は弘前の顔である。）

- 市役所本舎の受付に行ったとき、隣の受付女子の私語でお話が聞こえない。総合的に見て人数削減余地あると思うし、仕事の合理性も考えてほしい。住民票などの書類に配置している社員より、今の時代は機械で発行したらどうでしょうか。
- 市役所スタッフの接遇、態度、言葉づかい最悪。もっと勉強してください。偉そうな態度がイライラする。大丈夫？恥ずかしいと思う。交通公園のSLを担当しているおじさん達の態度が悪い。リンゴの花まつりの時は、最悪でしたよ。市役所の皆さん、お金のむだ遣いしないでね。
- 市役所の方の津軽弁が理解できないことがあります。津軽弁のアクセントは聞きづらいことがあるので、柔らかい話し方を心掛けていただけたらと思います。
- むだを省くこと（特にコスト意識）（暇人が多い）。業務に責任をもつ（自分の事以外のことでも積極的に動く）
- 弘前、岩木、相馬市の3市町村が合併した事により、職員の一人一人の仕事のやり方が違いすぎる。むだが多すぎて市民も疲れる。大阪市の橋下市長を見習ったら良いと思う。橋下さん良いこと言っています、やっています。弘前もマネはできると思う。橋下市長に「弘前に来て」と言いたいぐらいです。葛西市長さん、頑張らないと誰も付いて来ないですよ。ファイト！！
- 旧弘前市、岩木、相馬の各役所の職員の能力等を均一化していただきたい。より良い街づくりをするためにも、最優先するべき事だと思います。
- 市の出張所の職員の働きぶりについて見直してほしい。住民票の発行の手続に行った時、「くわえたばこ」で対応される。国民健康保険手続の際、混んでもいないのに、長時間待たされる。市長へ、直に抜き打ちで見てください。ひどいところは、ひどいです。
- 私は●●地区に住んで居りますが、●●出張所で申請書を作成していただくために訪問した時のことです。（国民健康保険の納税証明書）頭からこの証明書は本庁へ行ってくださいと言われました。結局本庁へ行って証明していただきましたが、出先である出張所は地域住民のために置いてあるのではないのでしょうか？こんなやり方では納得いきません。（前年は出張所において証明いただいたのです）

- 市役所職員に関しては、問題ありませんが、出張所の職員に対して問題がある。第1に、市民に対する対応の仕方、言葉遣い、また緊張感に欠け、ダラダラしている。私語も多い。人数的に多いと思います。市役所内の職員同様、テキパキとした行動、言葉遣いで対応の仕方をしてほしいものです。ひどい時は、日中、テレビを付けっぱなしの時もあった。勤務中ですので、ケジメを付けてほしいものだ。業務が楽で、月給を当たり前にもらうのは虫のいい話だ。人を減らし、テキパキ行動してほしいものです。
- 生活保護課は、挨拶もできない、仕事もダラダラで、以前、新聞ざたになりましたがなくても不思議でないと思います。市役所すべての課を見たわけではないのはっきりと言えませんが、下位から1、2番の体たらくだと思います。高齢福祉課も頑張っている人もいますが、制度もわからず、何をしているのかと思うような人ばかりです。弘前市は人口の割に福祉施設が多くあります。まだまだ、新しい施設が立つようですがもうこれ以上必要ないと思います。施設が過剰にあるため、介護保険料が高くなったのは当然ですし、今後も高くなるのは目に見えています。必要以上の介護サービスを行い、介護報酬を多くもらっている事業所も多数あります。いいかげん、手を打たないと介護保険にかかる費用が莫大になると思います。
- 先般、ゴミ処理場に行ったらトラックからゴミを捨ててくれた職員と、ただ黙って見ている職員が見受けられた。外注するべきではないか！
- 市立病院体質改善の要望。救急で数回ほど市立病院を受診しましたが、対応の悪さに怒りがいつも溢れます。医師は診断名も病気の説明もなく「廊下で待っていてください」と言ったままその後は何の説明もなく帰ってしまう。また次のときは、骨折で救急でみてもらった時、「次の日また来てください」と言われたのでかかりつけ医の●●のところへ受診したいと言ったところ、その病院はきちんとした対応ができないと悪口を言って、私達をがっかりさせました。看護師は、先生の指示受けだけをして、間に入って対応してくれない。市立の職員であるなら、もっと対応が良くてならないはずです。反省したり改善をしようとしたり少しでも良くなるよう努力することを強く求めます。
- 子供を保育園に入れたくて窓口を訪れた際や、病児保育の登録をしに行った際、こちらが質問しないと重要なことを教えてくれなくて困りました。何かマニュアルでも作って、説明するポイントをまとめればいいんじゃないかと思います。一般企業ではみんなそのようにして受付はもっと親切だと思います。あと、仕事しているので、月1回でもいいので土曜か18時以降やっていてくれると助かります。

- 市役所に行くと話ばかりして仕事をちゃんとしていない感じがします。選挙の期日前投票に行ったときも、わからないことを聞いたら、小声で「うるせーブス」と言われた。
- 市役所職員の人数が多い。
- コピーをとるだけのために立っている市職員は要らないと思います。
- 市職員、窓口のすぐ後ろに立っている人は何ですか？むだだと思います。すごく暇そうに見えます。民間ではあのような人材は通用しません。
- 市職員の数が、仕事量と比較して多いように思われる。効率良く仕事する事はもちろん大事だが、仕事が分散されて、その分、人を増やしてるのではないかと思われる。
- 国も地方も財源が厳しい現在、弘前市も人員、給与削減が必要だと思う。民間は血のにじむ努力をしているのに公務員は、特に市役所は余っている人員が多いと思う。市民に分かる実行が必要だと思います。
- 以前、職員給与等の表を見たことがあるが、あまりにも民間との差がありすぎる。給与をもっと下げるべき。葛西市長初め市の職員の方々は私達の血税で生活しておられることを忘れないでほしい。数年ほど前に住民票の交付を受けるため、窓口に行ったところ、簡単な漢字が読めない若い職員がいた。
- 民間の給料に対して、市職員の給料高すぎです。都会並みに合わせてるのがおかしい。私個人は税金、固定、市県民、その他の税、納めながら40年働いて退職金1円も出ないのに市職員は2500万も出るのはおかしいです。固定資産税は、納めても家は古くなれば壊れます。給料安いのに、退職金が出ない社会では、家もリフォームもできません。末端で働いている若者から年寄りも苦しんでいます。頑張っている若者に給料を市の補助金で底上げしてください。
- 民意をよく理解し、市民の平均月収を参考にし、公僕とは何ぞやの原点に立ち返り、日々精進を期待します。
- 市役所の窓口の時間を延長してください。(週1回でも) 学業・仕事をしていると窓口へ行けません。

- 予算のむだ使いが多い。(特に400年祭に係るイベント行事。) 本当に必要なものに、お金をかけていない。(教育関係)
- 市長と職員との間に温度差がある。職員はもっと市民感覚をもち、コスト感を持って行動すべき。エリア担当制度は何のために作ったのか。担当者は案内すると顔を出し、話を聞いているだけ、アドバイス等がなければ必要ない。
- 市役所の駐車場を広くしてほしいです。
- 市役所駐車場は、駐車しにくい。
- 新市長になって、毎年3~4%予算増になっているようだが、この不景気な時代に予算だけ増やしてどうするのか。公務員感覚で予算をかけて新事業等を計画しているようだが、我々の税金をもっと合理的に使って行政を実行してほしい。
- 水道管、ガス管など工事が必要なのは分かるが、できあがったと思うとまた掘り、できあがったと思うとまた掘るの繰り返し。本当にむだである。今年中の予算を使い切らないと来年の予算が下りないなど都合はあるのだろうが、その分違うことに回して、もっと大切に使ってほしいと思う。
- 次々とアイデアを出し、即実行する姿勢はアクティブで望ましい。しかしながら、実行に当たり人的物的な稼働を促す時、既知範囲から選ぶ傾向が垣間見える。それぞれの分野を広く見渡し、適材適所を考慮して、最適配置をお願いしたい。そのためには、委員会等の公的諮問機関ばかりではなく、表面に出ることはないがそれぞれの分野において公平で幅広い教養とバランス感覚を身に付けたブレインを置くことをお薦めする。
- 葛西市長のリーダーシップには満足しているけども、市の仕事が多すぎるのではないかと思う。公共事業が多くなればなるほど市民の「お上たのみ」依存心が高くなり、自ら変える力を減らすものと考えます。市のサービスの幅が広がるほど、キメ細やかさが求められ、それが当たり前になると、人はもっとももっとと要求して不満が大きくなるのでは。今後はあえて市の仕事を減らす勇気と市民が「自分で生きる」ことを考える意識変革が求められると思っています。人は与えられてばかりいると、考える力を失うものです。

- 市職員の服装についてですが、普段着風の方もいらっしゃる、きちんとスーツにネクタイの方もいます。一般的にはスーツにネクタイで出勤し作業着などに着替えるのが市民から見ても一番良いと思う。女性に関しても制服があるのにみなさんばらばらの服装はおかしいです。一番職員に直していただきたいです。頭のとっぺんから足先まで。民間ではあり得ないことです。
- 服装は公務員らしい服装に統一してほしい。特に女子。上は白、下は黒、紺、グレー等。冬のひざ掛けも統一してほしいです。色とりどりのイスのひざ掛けもどうかと思います。
- 時々市役所に行って思うのですが、職員の服が暗すぎると思います。明るい色で統一しては？
- 用事があって市役所に行くと、うす暗く、夏は暑く、冬は寒すぎで、節電も必要だが、夏は汗ばんで字を書くのも大変だった。家庭でできるだけ節電しているので公共の場くらいは、もう少し快適にしてほしい。書類を見るのさえ大変でした。(暗くて)
- 市庁舎についてと職員の対応について。庁舎は市民の顔である。年に一度程度の利用であるが汚い、暗い、特に暗い。年寄りにとっては庁舎の廊下、窓口の暗いのは困る。できる限り窓やカーテンを閉めないよう工夫すべき。合併により職員数も増え、多種多様な職員がいるわけですが、言葉使いの悪さ、津軽弁丸出しで言われても分からないことが多い。
- 市役所内全面禁煙すべき。職員の喫煙所に向う姿が見苦しい。スーツにて、缶コーヒーを持って複数で歩いている。
- 公用車でのタバコマナー悪い！何様なんだ。
- 一つ感じることは、職員あるいは市役所内の勤務状態で感じることは、場所という大きな問題があると思いますが、職場内での食事は疑問を感じています。食事中に来客があった場合の対応が、非常にある意味、不快を感じます。
- 市役所職員の不正が多すぎる。もっと、大阪のように厳しく調べるべきです。職員が多すぎる。ダラダラ仕事してる印象が強いし、職員を減らし、1人1人の仕事への責任感をもっと強く持ってほしい。今のままだと給料泥棒と言われる職員が多すぎて、税金を払うのがバカバカしい。給料やボーナス、手当など、もっと減らすべきです。

土、日、祭日が休みなのも変だと思います。土、日しか市役所に行けない人に対して不便です。

- 働く場所がなく、就職できなく苦しんでいる人が多い中で、市役所に勤めているというだけで市民を目下に見ている。市職員、地方公務員は、私達の税金で生活しているのに、むだ使いが多い。仕事に責任感がなく定年まで居ると退職金をもらうことしか考えてないから問題が起きて同じことの繰り返しだ。反省がない。

※ 市職員に関する意見等は、全部で84件ありました。

その他

〔税金等の負担〕

- 年金等福祉費の負担については相応分についてはやぶさかでないが、弘前市は他に比べても高いのではないか。市民税・水道料等も。
- 他の市よりも健康保険、介護保険料が高いのもっと安くしてほしい。
- 同レベルの他市に比べ上下水道代及び介護保険料が高額である。市民税は全国トップクラスだが生活は最低レベルである。
- 住民税や国保の料金がなくて、大変な生活です。お金がない人や老人が普通の生活ができるような弘前にしてください。
- 自営業ですが、税金、国民保険などを払うとほぼ売上げが残りません。売上げの少ない店なので、これなら働きに出た方がいいのでは？と考えています。何年前、少し売上げの良かった年は税金と国民保険の額がすごい上がりました。生活が苦しく、将来子供を産もうという考えになりません。
- 介護保険料、国保ともに高すぎて暮らしにくい。築城400年などの祭りには予算をとるのに、市民の基本的な生活の補償がされていない。国保料を払えない人がどの位

いますか？減っていますか？増えていますよね。社会保障、弱い人の立場に立てる人に首長として市政を担ってほしい。

- 葛西市長になって築城400年がらみの行事が多種多様あったり、市民参加型まちづくり1%システムとか新事業が増えているが、これらの予算は他の予算を圧迫していないか心配。新事業も大切かもしれないが、税金が安くなる方が60才を過ぎた今、いいと思う。
- 国保税の増税、介護保険料の値上げ等、それでなくても年金、消費税の値上げ等も浮かび、生活をおびやかすことばかりで、だんだん腹が立ち、築城400年祭りとか、花火ばかり上げて、低所得者への配慮が全く感じられない。
- 岩木町から弘前市になり都市計画税が課せられ税の負担が大きくなりましたが、その税金が岩木地区のどんなところに役立っているのかわからない。

〔被災地支援〕

- こういうアンケートを取ることも必要かと思いますが、私は体を悪くして家にいることが多く、テレビを見るといまだに震災の被害に遭った人たちのことが流れています。皆どこか日々と共に忘れてしまっているのではないのでしょうか。立ち止まっていたは何もできないのはわかりますが、今の市長さんなら、アンケートを取らずともおわかりになるのではないのでしょうか？弘前市民は市長さんを信頼しています。このようなアンケートにけるお金があるのであれば、少しでも被災地で苦しんでいる方に使っていただきたいような気がしました。
- 3.11の地震のときの支援物資を集めている場所、日時、集めている品物等がわからず、口コミで聞いて持って行きましたが、もっときちんと知らせてくれたら多くの協力がえられるのではないのでしょうか。
- 被災地の震災ゴミを受け入れてほしいです。ゆとりがないようですが、少しでもできるなら迷わずお願いします。
- 同じ東北、協力しましょう。

- 災害派遣等で岩手県野田村に援助するのも大事かもしれないが、弘前市でも困っている人がいるので、その費用があれば当市に使うように！（なぜ野田村だけに弘前市が援助対象としている。）

〔議会〕

- 市会議員の定数見直し。多すぎる。2分の1へ。市長を直接選んでいるので、議員は少なくとも良いと思っています。市政へは別な団体の活用ができるから。
- 日頃気になることに、市会議員の数が多いことである。職員は、発言することがいろいろと問題となるだろうが、弘前市の場合、議員が全国的に見て極めて多いと言える。財政が苦しいのに、議員定数の問題が論議されないことに大変な違和感を覚える。現議員の方々は、議員を一種の職業として捉えているのではないか。ヨーロッパのある国々では地方の議員はボランティアであることはよく知られている。文化のレベルが高いと言われる弘前なら一考を要する大事な事項の一つであると言える。
- 弘前市の議員定数減は考えているのか。他市町村ではすべて法定上限以下なのに。
- 市議会議員も減らすべき。人数を減らせないのであれば、収入を減らすべき。
- 市議会（定例議会等）を時折り傍聴しているが、議員がどれくらい調査し、自らのものになって質問しているか疑問。当たらず触らずの言葉に歯が浮く。
- 今年の冬、職場がある町内で、車道でない道路を町内から出ている市会議員の方が町内の役員さん達と除排雪してくれました。感動しました。地域のイベント時に来賓として出席する方々が多い中、素晴らしいと思った。市民のために知力も体力も使ってほしいです。決して安い税金を貰っている訳ではないはずですが。ボランティアを一番してほしい人達は議員の皆様です。

〔その他〕

- 転勤で東北各地を回り、弘前に住んで約20年になりますが、今は何か、ほっとして

います。各地を回ったせいか、何か我が家に帰ってきたような、そんな穏やかな弘前の情緒に触れています。現在69才でカルチャーの講師をしていますが、弘前に落ちついて良かったと思っています。

- 私の知り合いに公務員になりたいと言う人がいます。理由を聞くと「給料が良いから」「クビがないから」「潰れないから」など。「弘前をもっと良くしたいから」と言う人は一人もいません。このような考え方の人が多いと良くなる町も良くなりません。大阪の橋下市長のようにビシバシやっても良いと思います。橋下市長はかなり市民のためを思って行動し、大きなことをやろうとしていますよ。
- 東照宮の破綻を知り、まことに残念でなりません。他人の手に渡ることなく、弘前市として、土地を所有することに努め、有効に活用できる施設を作ったらと思います。
- 今後もたか丸くんの活動場所を増やして有名にすればいいと思う。